

■森林の保全・緑化

	事業者コード	環境寄附対象団体名称
1	K063	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
2	K064	Link・森と水と人をつなぐ会
3	K065	埼玉森林サポータークラブ
4	K066	内モンゴル沙漠化防止植林の会
5	K067	ちば里山センター
6	K068	HANDS
7	K069	環境リレーションズ研究所
8	K070	国際環境NGO FoE Japan
9	K071	国際緑化推進センター
10	K072	樹木・環境ネットワーク協会
11	K073	世田谷トラストまちづくり
12	K074	セブン-イレブン記念財団
13	K075	地球と未来の環境基金
14	K078	C.W.ニコル・アフアの森財団
15	K079	森林環境
16	K080	環境NGO イカオ・アコ
17	K081	地域国際活動研究センター
18	K082	アクティブ近江富士
19	K083	里山倶楽部
20	K084	地球環境センター
21	K085	緑の地球ネットワーク
22	K086	和歌山自然リサイクル協会
23	K087	緑と水の連絡会議
24	K088	森林をつくろう
25	K089	環境技術協会
26	K090	かごしまみどりの基金
27	K206	白神山地を守る会
28	K208	JUON NETWORK(樹恩ネットワーク)
29	K209	草炭緑化協会
30	K210	more trees
31	K211	森づくりフォーラム
32	K212	WITH
33	K232	水と緑の環境ネットワークの会
34	K233	緑のサヘル
35	K234	緑のまちづくり支援機構

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K063	団体名	公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
連絡先 (電話／メール)	022-276-5118	活動ホームページ (URL)	http://www.melon.or.jp/melon/
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	MELON森林保全普及啓発事業		
寄附額合計	¥2,248,906		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥230,237	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2011年度はいただいたご寄附で「白炭作り体験会」「秋の森で遊ぼう in 川崎町」「薪づくり&おいしい活用体験会」を実施しました。いずれも一般公募した参加者とともに、里山での炭作り、薪作り等の体験や植物観察、里山の大切さを学ぶ講習、などです。(春に計画したイベントは震災により中止)</p> <p>(使途)上記講座のコーディネート・講師料、バス代、食材費、機材賃料、事務経費に約80,000円/1回×3回分使わせていただきました。</p> <p>(効果)森林インストラクターや薪作りの専門家に協力を依頼し、内容の濃い活動を行うことができました。3回合計で114名の参加がありました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥443,153	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2012年はご寄附で「薪ストーブセミナー」「春の森で遊ぼう in 川崎町貸森林」「木が結ぶ森と暮らし」「白炭作体験会」「秋の森で遊ぼうin川崎町貸森林」「薪ストーブ体験会in南三陸」を実施しました。いずれも参加者を公募し、里山での炭作り、薪作り等の体験や植物観察、講習、などの内容です。</p> <p>(使途)上記の講師料、バス代、食材費、機材賃料、事務経費に443,153円全額を使用しました。</p> <p>(効果)森林インストラクターや薪作りの専門家のご協力で、参加者に森林保全の大切さを伝えました。参加者6回合計163名。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥766,742	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2013年度はご寄附により「春の森で遊ぼう！ in 川崎町貸森林」「秋の森で遊ぼう！ in川崎町貸森林」「木造住宅と自然エネルギー見学会」「宮城県産材を使用した地球環境に優しい住宅のシンポジウム」「自然エネルギー体験会 in 南三陸」「森林交流会 & 記念講演会 里山資本主義」を実施した他、他団体主催の「冬のキコリ体験会」「森林整備活動のボランティア体験」に参加しました。いずれも参加者を公募して実施し、森林での間伐等の体験や薪・ペレットの活用見学などの内容です。</p> <p>(使途)上記の講師料、バス代、食材費、機材賃料、事務経費に766,742円全額を使用しました。</p> <p>(効果)森林で活動するNPOなどのご協力で、参加者に森林保全の大切さを伝えました。参加者8回合計383名。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥541,702	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2014年度はご寄附により2014年5/11(日)「春の森で遊ぼう！ in 川崎町貸森林」11/16(日)「宮城県産材を使用した地球環境に優しい復興住宅のシンポジウム」2015年2/22(日)2/28(土)「薪&ペレットストーブ体験会」を開催。いずれも広く一般参加者を公募して実施。森林での活動体験や県産材の活用啓発等の内容です。</p> <p>(使途)上記の講師料、バス代、食材費、機材賃料、事務経費に541702円全額を使用しました。</p> <p>(効果)森林で活動するNPOと協力し、森林を活用して保全することの大切さを伝えました。参加者は4回合計で102名でした。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥267,072	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2015年度はご寄附により5/24(日)「春の森で遊ぼう！ in 川崎町貸森林」10/17(土)「秋の森で遊ぼう！ in 川崎町貸森林」を開催。いずれも広く一般参加者を公募して実施しました。都会に住む親子を中心にご参加いただき、森林での活動体験や野外料理体験をしました。また宮城県の森林の状況等をお話しし、木材活用の大切さを伝えました。</p> <p>(使途)上記の講師料、バス代、食材費、機材賃料、事務経費等に267,072円全額を使用しました。ご寄附により参加費を比較的安く参加しやすい額に設定することができました。</p> <p>(効果)ご寄附をいただき上記イベントを継続して開催することで、森林で活動するNPOとのネットワークができました。普段あまり森の中で遊ぶことのない子どもたちにこの活動を通じて、自然のすばらしさと森林を活用し保全することの大切さを伝えることができました。参加者は2回合計で38名でした。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K064	団体名	特定非営利活動法人Link・森と水と人をつなぐ会
連絡先 (電話／メール)	080-2035-4291	活動ホームページ (URL)	http://www.geocities.jp/link_chiangmai_forest/index.html
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	北タイの森を守る人を支えるプロジェクト		
寄附額合計	¥205,964		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥40,784	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) Linkは森林破壊の進む北タイの山間地域で、森林保全に取り組む地域住民の活動を支援している。東南アジアにおける環境破壊は、私たち日本人のくらしと深く結びついたものであり、日本社会の持続的発展をも視野に入れて、活動を通して得られた経験をより多くの人々に情報として提供し、環境について考える機会を持ってもらうため、会報の発行を行っている。</p> <p>(使途) ご寄附いただいた40,784円を、当会の会報『まっぷらん』第21号(発行:2011年12月7日、500部)、同第22号(発行:2012年3月30日、600部)の印刷郵送費に使わせていただいた。</p> <p>(効果) タイの森林破壊とそれに取り組む人々の状況を伝えることで、広くアジアの国々も視野に入れた環境問題への関心を喚起することができた。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥95,665	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当法人は、森林破壊の進む北タイの山間地域で、森林保全に取り組む地域住民の活動を支援しています。東南アジアにおける環境破壊は、私たち日本人のくらしと深く結びついたものであり、日本社会の持続的発展をも視野に入れて、活動を通して得られた経験を、より多くの人々に情報として提供し、環境について考える機会を持って頂くために、会報の発行を行っています。</p> <p>(使途) ご寄附いただいた95,665円は、当会の会報『まっぷらん』第21号(発行:2011年12月7日、500部)、同第22号(発行:2012年3月30日、600部)の印刷費および郵送費の一部に全て充当させて頂きました。</p> <p>(効果) タイの森林破壊とそれに取り組む人々の状況を広くお知らせすることで、アジアの国々も視野に入れた環境問題への関心を喚起することができました。ありがとうございました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥51,084	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) Linkは森林破壊の進む北タイの山間地域で、森林保全に取り組む地域住民の活動を支援しています。東南アジアにおける環境破壊は、私たち日本人のくらしと深く結びついたものであり、日本社会の持続的発展をも視野に入れて、活動を通して得られた経験をより多くの人々に情報として提供し環境について考える機会を持ってもらうため、会報の発行を行っています。</p> <p>(使途) ご寄附いただいた51,084円を、当会の会報『まっぷらん』第23号(発行:2012年7月、600部)、第24号(発行:2012年9月、600部)、同第25号(発行:2012年12月、600部)、同第26号(発行:2013年3月、600部)、の印刷郵送費に使わせていただきました。</p> <p>(効果) タイの森林破壊とそれに取り組む人々の状況を伝えることで、わが国の人々の広くアジアの国々も視野に入れた環境問題への関心を喚起することができたと考えます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,431	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) Linkは森林破壊の進む北タイの山間地域で、森林保全に取り組む地域住民の活動を支援しています。東南アジアにおける環境破壊は、私たち日本人のくらしと深く結びついたものであり、日本社会の持続的発展をも視野に入れて、活動を通して得られた経験をより多くの人々に情報として提供し環境について考える機会を持ってもらうため、会報の発行を行っています。</p> <p>(使途) ご寄附いただいた18,431円を、当会の会報『まっぷらん』第27号(発行:2013年7月、250部)、第28号(発行:2013年9月、250部)、同第29号(発行:2013年12月、250部)の印刷郵送費に使わせていただきました。</p> <p>(効果) タイの森林破壊とそれに取り組む人々の状況を伝えることで、わが国の人々の、広くアジアの国々も視野に入れた環境問題への関心を喚起することができたと考えます。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K065	団体名	特定非営利活動法人埼玉森林サポータークラブ
連絡先 (電話／メール)	048-814-2770	活動ホームページ (URL)	http://www.shinrin-supporter.org
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	森林保全育成事業		
寄附額合計	¥385,070		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥109,943	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当クラブは、「豊かな森林を次世代に継承する。」ことを目的に、毎月土日を主に埼玉県内の森林を主な対象として「環境の保全を図る活動」として、植栽、下刈り、間伐、除伐等の森林作業を行うほか、森林に関する普及啓発等の事業を行っています。ボランティア活動が安全で活発に行なわれるために、手作業での研修はもとより、機械による安全研修等の実施に努めているところです。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた109,943円は平成23年7月に実施したボランティア作業のための「刈払機作業の特別教育研修」の経費(会場費・講師謝金・資料の印刷費等)とさせていただきます、安全なボランティア作業のための研修会を実施することができました。</p> <p>平成23年度の活動実績【活動回数:138回、参加人数:約2,900人】</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥106,171	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当クラブは、「豊かな森林を次世代に継承する。」ことを目的に、毎月土日を主に埼玉県内の森林を主な対象として「環境の保全を図る活動」として、植栽、下刈り、間伐、除伐等の森林作業を行うほか、森林に関する普及啓発等の事業を行っています。ボランティア活動が安全で活発に行なわれるために、手作業での研修はもとより、機械による安全研修等の実施に努めているところです。</p> <p>今年も、ご寄附いただいた106,171円は平成24年7月に実施したボランティア作業のための「刈払機作業の特別教育研修」の経費(会場費・講師謝金・資料の印刷費等)とさせていただきます、安全なボランティア作業のための研修会を実施することができました。</p> <p>平成24年度の活動実績【活動回数:140回、参加人数:約3,000人】</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥118,923	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当クラブは、「豊かな森林を次世代に継承する。」ことを目的に、埼玉県内の森林を主な対象として毎月土日を中心に植栽、下刈り、間伐、除伐等の森林作業を行うほか、森林に関する普及啓発を実施しています。また、森林整備活動が安全で円滑に進められるよう、山の作業を専業としていない者のために実技時間を充実させた機械等の安全研修会を実施しています。</p> <p>(使途)今年ご寄附いただいた118,923円は、平成25年7月に実施したボランティアの作業のための「刈払機作業の特別教育研修」の経費(会場費、講師謝金、資料の印刷費等)の一部とさせていただきます。</p> <p>(効果)平成25年度の活動実績(12月末)は【活動回数396回、参加人数2,028人】で、下草刈りは45回(約17ha)実施しました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥33,401	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当クラブは「豊かな森林を次世代に継承する。」を目的に埼玉県内の森林を対象として毎月土日を中心に植栽、下刈り、間伐等の森林作業を行うほか、森林に関する普及啓発を実施しています。また、森林整備活動が安全で円滑に進められるよう、山の作業を専業としていない人のために実技を充実させた機械等の安全研修会を実施しています。</p> <p>(使途)今年ご寄附いただいた33,401円は、平成26年5月に実施したボランティアの作業のための「刈払機作業の特別教育研修」の経費(会場費、講師謝金、資料代等)の一部とさせていただきます。</p> <p>(効果)平成26年度の活動実績(平成27年2月28日現在)は【活動回数126回、参加人数2,731人】で、下草刈りは37回実施しました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥16,632	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当クラブは、「豊かな森林を次世代に継承する。」ことを目的に、埼玉県内の森林を主な対象として毎月土日を中心に植栽、下刈り、間伐、除伐等の森林作業を行うほか、森林に関する普及啓発を実施しています。また、森林整備活動が安全で円滑に進められるよう、山の作業を専業としていない者のために実技時間を充実させた機械等の安全研修会を実施しています。</p> <p>(使途)今年4月までにご寄附いただいた16,562円は、平成27年5月に実施したボランティアの作業のための「刈払機作業の特別教育研修」の経費の一部とさせていただきます。7月にご寄付頂きました70円は事務費の一部とさせていただきます。</p> <p>(効果)平成27年度(11月末)の活動実績は【活動回数86回、参加人数1,888人】で、下草刈りは34回実施しました。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K066	団体名	内モンゴル沙漠化防止植林の会
連絡先 (電話／メール)	0479-67-5112	活動ホームページ (URL)	http://www.shokurin.com/
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	内モンゴル自治区ホルチン砂地における再植林事業		
寄附額合計	¥430,810		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥82,640	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)内モンゴル沙漠化防止植林の会が中国内モンゴル通遼市を中心に灌木の再植林を実施しております。樹種には杏、サジー、文冠果などがあり、以前当該地域に生息しており、なんらかの原因で伐採された果樹ばかりです。活動には地域住民の参加を積極的に呼び掛け、果樹再植林の技術を広く教え、実際の植林を通じて確信を得られるような試みを行っております。</p> <p>(使途)平成23年度まで、通遼市郊外のエムナー・テグルグ村など五つの村を中心に講習会を実施し、述べ45人が講習会に参加しました。また、寄附金と当会の活動資金を活かし700本の果樹の苗を購入し、住民各自土地での植林を実施しました。地域住民が管理などを通じて果樹植林の技術を取得しております。</p> <p>(効果)当該活動を通じて9家族が自分の所有する土地に果樹を植え、今後の成長を楽しみにしております。活動が果樹植林に対する知識を高め、植林したいという家族に対し、苗の配布などのサポートを実施できました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥124,564	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>内モンゴル沙漠化防止植林の会では、中国内モンゴル自治区通遼市にて住民の自立支援となる低木果樹の植林を実施しています。</p> <p>環境寄附を活かし十畝の植林地を整地し、700株の杏、文官果などの苗を植えました。</p> <p>この間3家族10名が植林活動に参加し、専門家から植樹、水やり、防虫などの管理方法を習得しました。また、植林対象地は今まで活用出来なかった荒地を活用し、苗の選定は地下水に殆ど頼らない灌木を選びました。そうすることで周辺環境への影響を少なくし、住民の今までの生活にマイナスの影響を及ぼすことがないよう配慮しました。三年後には果樹の実が取れて、経済的収入が見込めそうで、住民たちは成果を楽しみにしています。事業実施に当たり、担当者は地域行政関係者に対し協力を要請し、積極的な支援を受けています。また、住民は活動の趣旨に賛同し、自主的に事業に加わっています。ご寄附いただいた金額は全額この事業に使用しました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥183,443	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当該期間の寄附金及び当会自己資金を活かし、中国内モンゴル自治区通遼市を中心に住民の自立支援を目的とした低木果樹の植林技術の普及、実際の果樹苗の実践的植林などを行いました。活動を通じてのべ4000本の低木果樹の植林を可能とし、2.5haの荒地の緑化に成功しました。期間中12家族21名が講習会に参加し、その中今回6家族が植林地の管理者となり、植林地の日常的管理を行っております。</p> <p>平成25年4月現在まで4000本の低木果樹(杏1000本、文冠果2000本、サジー1000本)の苗を購入し、無料で各家族に配布し、植林の実践を行いました。</p> <p>活動を通じて、住民らは当該地域が苗の生育に適していること、地下水への影響の少ないこと、経済性が高いことなどを改めて知りました。みな経済性が高い果樹から得られる収入を楽しみにしております。当活動が住民の生活水準の向上に寄与出来ることを活動を通じて確信しております。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥27,531	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)上記期間の寄附金及び当会自己資金を活かし、中国内モンゴル自治区通遼市を中心に住民の自立支援を目的とした低木果樹の植林技術の普及、実際の果樹苗の実践的植林などを行いました。</p> <p>(使途)2014年4月下旬、250本の低木果樹(文冠果)の植林をし、3畝砂地の緑化を行いました。また、期間中三家族七名の現地住民が講習会に参加し、そのうち一家族が植林地の実質的な管理人となり、水遣りなどを行っています。</p> <p>(効果)活動を通じて、住民らは当該地域において、苗が適していることや地下水への影響が少ないこと、果樹で果実が得られることから、この活動が経済性の高いものであることを改めて知りました。三年後から植林した苗に果実が実り、市場に出荷できることから、自然環境のみならず、住民の生活水準の向上にも寄与できます。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥12,632	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会では、中国内モンゴル自治区通遼市を中心に住民の自立支援を目的とした低木果樹の植林技術の普及、実際の果樹苗の実践的植林などを行っています。</p> <p>(使途)この度、ご寄附いただいた寄附金と当会の寄附金を活用し、2015年10月下旬、500本の低木果樹(文冠果)の植林をし、10畝砂地の緑化を行いました。また、期間中、2家族5名の現地住民が講習会に参加し、そのうち1家族が植林地の実質的な管理人となり、水遣りなどを行っています。</p> <p>(効果)活動を通じて、住民らは当該地域において、文冠果の苗が適していることや、地下水への影響が少ないこと、果樹で果実が得られることからこの活動が経済性の高いものであることを改めて知りました。3年後から植林した苗に果実が実り、市場に出荷できることから、自然環境のみならず、住民の生活水準の向上にも寄与できます。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K067	団体名	特定非営利活動法人ちば里山センター
連絡先 (電話／メール)	0438-62-8895	活動ホームページ (URL)	http://www.chiba-satoyama.net
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	ちば里山情報の提供と活動支援並びに里山整備技術指導事業		
寄附額合計	¥499,132		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥71,662	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>里山活動において重要な安全研修を実施いたしました。必要なヘルメット及びゴーグルを購入いたしました。また、自然観察会を実施するときに必要なフリーハンドマイク及び安全研修DVDを購入いたしました。</p> <p>22年度においては安全研修を実施いたしました。23年度は国際森林年であったことから、「里山を歩く」をテーマに自然観察会、野鳥観察、ネイチャゲーム、里山国際交流、などを千葉県内で16回開催し年間でおおよそ450名の参加がありました。</p> <p>里山活動への理解関心を生み出す取り組みをすることが出来ました。ありがとうございました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥148,797	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・里山の保全・整備活動に取り組み、生物多様性の保全再生に寄与する活動をする個人や団体と協働実施しています。里山活動での技術向上(安全研修など)や一般市民対象の里山活動体験を開催しました。</p> <p>・平成24年度は、安全に保全・整備活動が行われるための「安全講習会」を県内7箇所の里山を会場にして、開催できました。また、一般市民を対象とした里山体験(里山を歩く、炭焼き体験)や自然観察会「野鳥観察」の実施、勉強会「バイオトイロ学習会」実施することができました。安全研修講師代講師交通費100,000円及び学習会や里山体験講師・講師交通費・資料作成含み48,797円を等使わせていただきました。</p> <p>・安全研修は約100名の参加、里山体験も100名ほどの参加がありました。今後も、取り組みたい基本的なことです。里山活動の重要性を多くの皆様に理解をいただける活動に、今後も取り組みます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥129,360	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・里山活動団体の技術向上や一般市民対象に里山活動体験を開催いたしました。加えて一般市民の里山活動への理解浸透を図るためのエコメッセージIN千葉及びエコプロダクツに参加して広報活動を実施しました。また、緑の守り人イベント開催として安全研修を5回実施しました。一般市民対象に里山自然観察会里山を歩くと野鳥観察会も実施することができました。</p> <p>・此度ご寄附頂いた寄附金129,360円は当センターの資金15,640円と合わせ、安全研修、野鳥観察会講師代金に充当しました。</p> <p>・今後も、安全は活動の基本ですのでできるだけ各所での開催を積み重ねていきたいと考えます。里山の多面的機能がますます発揮していけるように、今後も取り組んでいきます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥132,231	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>此度、ご寄附頂いた132,231円は、一般市民・企業等への情報発信及び広報活動に使わせていただきました。</p> <p>「エコメッセージ2013inちば」に参加し千葉県における里山活動を広く県民に広報するとともに、環境CSR活動などを模索している多くの企業との情報交換を行いました。</p> <p>また、「エコプロダクツ2013」に3日間参加し、多数の参加者に情報発信するとともに企業や団体等との交流・情報の発信に努めました。</p> <p>これまでもこれらのイベントを契機に数多くの里山活動が誕生していることから、今後も新たな活動に結び付くよう努力し、里山の多面的機能がますます発揮していけるように取り組んでいきます。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥17,082	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>此度、ご寄附頂いた17,082円は、一般市民・企業等への情報発信及び広報活動に使わせていただきました。</p> <p>主な内容は、「エコメッセージ2014inちば」、「エコメッセージ2015inちば」に参加し、パネルの展示やリーフレット等で里山活動団体の紹介をするとともに企業や団体等との交流・情報発信に努めました。</p> <p>また、「エコプロダクツ2014」に3日間参加し、多くの来場者に千葉県における里山活動を広報するとともに、環境CSR活動などを模索している多くの企業との情報交換を行いました。</p> <p>今まで、これらのイベントを契機に企業等のCSR活動も含め数多くの里山活動が誕生していることから、今後も新たな活動に結び付くよう努力し、里山の多面的機能がますます発揮していけるように取り組んでいきます。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K068	団体名	特定非営利活動法人HANDS
連絡先 (電話／メール)	03-5805-8565	活動ホームページ (URL)	http://www.hands.or.jp/
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	ブラジル・アマゾン西部におけるアグロフォレストリー普及活動		
寄附額合計	¥204,891		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥34,583	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人ではブラジル国アマゾン西部地域、具体的にはアマゾナス州マニコレ市農村部においてアグロフォレストリー普及プロジェクトを行っています。</p> <p>(使途)対象地域の農村においてアグロフォレストリー普及のために毎月20村ぐらいに対して訪問実施指導等の技術協力を行いましたが、ご寄附いただいた¥34,583に当法人の資金を合わせましてその際に使用する資機材(ポンプ、草刈り機等)を調達しました。</p> <p>(効果)皆様のご協力もあり、プロジェクトにより約20ヶ所の農場へアグロフォレストリーが導入され、数百～数千の苗の栽培とそれらの移植がなされました。また、これらアグロフォレストリー技術の優れた点は徐々にですが周辺の農家にも認識を得て来ています。今後、さらにプロジェクトを進めてアグロフォレストリー技術の定着を図り、より多くの村で住民の生活向上と森林保護を両立させ、自然と人間が調和した環境を実現するために取り組んでまいります。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥94,663	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体ではブラジル国アマゾン西部地域、具体的にはアマゾナス州マニコレ市農村部においてアグロフォレストリー普及プロジェクトを行っています。</p> <p>(使途)対象地域の農村においてアグロフォレストリー普及のために毎月20村ぐらいを訪問し、実施指導等の技術協力を行いましたが、ご寄附いただいた94,663円に当団体の資金を合わせまして、苗袋等の農業資材の調達や対象地域での農民向けセミナー開催を実現できました。</p> <p>(効果)これらの活動により現在アグロフォレストリーを実践しているのは約100農家ですが、その内すでに1/4が収穫物の種類と量が増しました。この結果、これらアグロフォレストリー技術の優れた点は徐々にですが周辺の農家にも認識を得て拡がりを見せています。今後、さらにプロジェクトを進めてこの技術の定着と展開を図り、より多くの農村で住民の生活向上と森林保護を両立させる事を実現するために取り組んでまいります。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥51,082	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体では、ブラジル国アマゾン西部地方アマゾナス州マニコレ市農村部等においてアグロフォレストリー普及プロジェクトを行っています。</p> <p>皆様からご寄附頂いた51,082円と、当団体の資金を合わせまして、マニコレ市等における20箇所の苗床/畑にて万単位の苗を作り、各村落におけるアグロフォレストリー技術指導等を行うことができるとともに、苗袋等の農業資材の調達や対象地域での農民向けセミナーも実現できております。</p> <p>この結果、「自然物の採取」から「苗を植えて育てて収穫する」という発想の変革が広がりを見せており、より多くの農民が生活の向上を感じ始めております。今後も更に多くの農村における住民の生活向上並びに森林保護を両立させるべくプロジェクトを進める所存です。昨今のマデイラ川における大水による農産物への影響も懸念されますが、これまでの取り組みや成果が止まることのないよう一層の努力を続けて参ります。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,431	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体では、ブラジル国アマゾン西部地方アマゾナス州マニコレ市農村部においてアグロフォレストリー普及活動を行っています。30もの農家がアグロフォレストリー農法を導入し順調に進捗していましたが、2014年3月頃からマデイラ川において記録的な増水が発生。多くの農地が水没し農作物が壊滅的な被害を受けました。</p> <p>この水害を受け、皆様から頂いた17,431円と弊団体の資金を合わせまして、アグロフォレストリー復興支援活動を進めることができました。具体的には、被害の大きかったバナナの根塊や短期で収穫が見込める農作物の種や苗、苗袋など2ha分相当を約120軒の農家へ配布。</p> <p>被災農民は一時落胆したものの、皆様からの支援により、農業に再度取り組む前向きな気持ちを取り戻すことができている。1日でも早い復興を目指し今後も支援を続けると共に、より多くの農民が生活向上を叶え森林保護も両立させるべく活動を進めて参ります。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥7,132		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体ではブラジル国アマゾン西部地方アマゾナス州マニコレ市農村部等においてアグロフォレストリー普及プロジェクトを行っています。</p> <p>ご寄附頂いた7,132円と、当団体の資金を合わせまして、各村落におけるアグロフォレストリー技術指導等を行い、マニコレ市ノボアリアナン市ボルバ市における30箇所以上の苗床/畑にて、既に万単位の苗が作られており、収穫増による生活向上が見込まれております。</p> <p>この結果、「自然物の採取」から「苗を植えて育てて収穫する」へと発想の変革が広がりを見せており、今後もより多くの農村における住民の生活向上並びに森林保護を両立させるべく、プロジェクトを進める所存です。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K069	団体名	特定非営利活動法人環境リレーションズ研究所
連絡先 (電話／メール)	03-5283-8143	活動ホームページ (URL)	http://www.presenttree.jp
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	環境保全における大衆の参画基盤構築事業		
寄附額合計	¥13,723,145		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥3,929,241	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、2005年1月から市民参加型の森林再生プロジェクト「プレゼントツリー」を実施しています。プレゼントツリーは、人生の節目に記念樹を植えることがエコアクションへの入口になるしくみになっています。2011年12月31日現在で、植樹本数は約6万9千本、直接間接的な支援者は約180万人に達しました。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた個別指定を受けた寄附金以外それぞれの金額分に対し、宮崎県高原町の植栽地に植樹させていただきました(それぞれ、3本、7本)。また、個別指定分については、岐阜県高山市の植栽地に1,111本を植樹させていただきました。</p> <p>(効果)「プレゼントツリー」HP上で、今回いただいた寄附金の使途をご報告させていただくことにより、当団体の活動と森林再生活動全般に関する普及啓発が高まることを期待します。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥6,158,139	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、「人生の記念日に樹を植えよう!」を合言葉に、国内外の森づくりが必要とされる土地に記念樹を植えることで、森林再生に繋げていくプロジェクト「プレゼントツリー」を実施しています。日常生活の導線からエコアクションに繋がるしくみになっています。2012年12月末現在で、植樹本数は約8万2千本、直接間接的な支援者数は約240万人におよびます。</p> <p>(使途)以下の植樹を実施しました。ポイント取得者様からの寄附＋交換提供事業者様からの寄附:宮崎県高原町に29本、個別指定による寄附:宮崎県高原町473本、宮崎県川南町1000本、岐阜県高山市257本。繰越金1,639円は来年度の植樹費用にいたします。</p> <p>(効果)上記の植樹により、10年後に各植栽地が森林の公益的機能を回復し、豊かな生物多様性をもてる森となります。寄附者の皆様には、樹々の生長を見守っていただければ幸いです。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥2,964,737	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では「人生の記念日に樹を植えよう!」を合言葉に、国内外の森づくりが必要とされる土地に記念樹を植えることで、森林再生と地域振興に繋げていくプロジェクト「プレゼントツリー」を実施しています。記念日に樹を植えるプレゼントするという日常の導線から、気軽にエコアクションに参加できるしくみになっています。</p> <p>(使途)ポイント取得者様からの寄附＋交換提供事業者様からの寄附:ブルキナファソに5本植樹、個別指定による寄附:岩手県宮古市832本植樹。端数2,737円＋昨年度繰越金1,639円、計4,376円で宮古市に1本植樹、端数876円は次年度への繰り越しとさせていただきます。</p> <p>(効果)宮古市に魚付き林となる広葉樹の森を育み、同市主力産業である漁業を支える豊かな漁場を守ることにつながります。シアの樹の経済植林により、ブルキナファソの社会的経済的弱者の自立を助ける支援につながります。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥593,710	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では「人生の記念日に樹を植えよう!」を合言葉に、国内外の森づくりが必要とされる土地に記念樹を植えることで、森林再生と地域振興に繋げていくプロジェクト「プレゼントツリー」を実施しています。記念日に樹を植えるプレゼントするという日常の導線から、気軽にエコアクションに参加できるしくみになっています。</p> <p>(使途)ポイント取得者様からの寄附＋交換提供事業者様からの寄附:ブルキナファソに1本、宮古市に2本植樹、個別指定による寄附:宮古市に164本植樹。端数2,710円＋昨年度繰越金876円、計3,586円で宮古市に1本植樹、端数86円は次年度への繰り越しとさせていただきます。</p> <p>(効果)宮古市に魚付き林となる広葉樹の森を育み、同市主力産業である漁業を支える豊かな漁場を守ることにつながります。シアの樹の経済植林により、ブルキナファソの社会的経済的弱者の自立を助ける支援に繋がります。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥77,318		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では「人生の記念日に樹を植えよう!」を合言葉に、国内外の森づくりが必要とされる土地に記念樹を植えることで、森林再生と地域振興に繋げていくプロジェクト「プレゼントツリー」を実施しています。都市の人びとに苗木の里親になってもらい、その苗木を介して縁のできた中山間地域との交流人口を増やすことによって、森だけでなく地域も元気になっていきます。</p> <p>(使途)今回の寄附金は77,000円分を岩手県宮古市に22本の植樹(ブナ、ミズナラ、ナナカマド、ヤマザクラ、イタヤカエデ、ナナカマドなど)のため、苗木購入や活動費用に使用し、端数の318円と昨年度繰越金86円の計404円は一般活動資金へ充当いたしました。</p> <p>(効果)宮古市に魚付き林となる広葉樹の森を育み、同市主力産業である漁業を支える豊かな漁場を守ることにつながります。また、森づくりを通して、都市部の里親と地元市民の交流のきっかけを創出します。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K070	団体名	特定非営利活動法人国際環境NGO FoE Japan
連絡先 (電話／メール)	03-6909-5983	活動ホームページ (URL)	http://www.foejapan.org/
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	フェアウッド推進事業		
寄附額合計	¥448,887		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥42,294	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、市民の消費行動によって現実に行き始めている森林減少・劣化の問題について、一人一人がその事実を知り、日々の消費行動を改めることによって森林保全につなげるため、森林環境に配慮した”フェアウッド”なライフスタイルというものを提案している。</p> <p>(使途)2011年夏に、リゾートチェーンのホテルグリーンプラザと連携し、同社の施設内のロビーなどでパネル展示やフェアウッド製品に触れることができる展示をキャラバンで行った。住宅エコポイントで寄せられた寄附金は、資材の運搬や、スタッフの移動費用に充てた。</p> <p>(効果)大阪から関東エリアまで、計10ヶ所のホテルでのべ96日間展示を実施することができた。自然環境が豊かなリゾート施設というロケーションとの親和性から、多くの方に日々の生活と自然環境とのつながりについて訴えることが出来た。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥119,919	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、市民の消費行動によって現実に行き始めている森林減少・劣化の問題について、一人一人がその事実を知り、日々の消費行動を改めることによって森林保全につなげるため、森林環境に配慮した”フェアウッド”なライフスタイルというものを提案している。</p> <p>(使途)市民への普及の場として、”フェアウッドカフェ”を運営している。屋外の環境系のイベントでは、実際にフェアウッドに触れる木工ワークショップを開いているが、本年は東京の里山保全作業の際に得られた広葉樹を加工し、里山コースター作りワークショップを開催し、木材の運搬・加工費、資材の調達に寄附金を全て充てた。</p> <p>(効果)親子を中心に20組程度の参加があった。ワークショップ中にコースターの木のふるさとの話から、日本、世界の森林が置かれている現状についてコミュニケーションを図り、里山保全の意義、木の使い方について理解が深まった。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥86,733	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、市民の消費行動によって現実に行き始めている森林減少・劣化の問題について、一人一人がその事実を知り、日々の消費行動を改めることによって森林保全につなげるため、森林環境に配慮した”フェアウッド”なライフスタイルというものを提案している。</p> <p>(使途)市民に対しての情報発信の場として、”フェアウッドカフェ”を運営。日比谷公園や光が丘公園で行われた環境系イベントに出展した。その際に、フェアウッドに触れる木工ワークショップとして、宮城県登米市の杉材を使いコースター作りワークショップを開催した。ワークショップ実施にかかる資材の調達、イベントの実施費用に寄附金を充てた。</p> <p>(効果)親子を中心に80名程度の参加があった。ワークショップ中にコースターの木のふるさとの話から、日本、世界の森林が置かれている現状についてコミュニケーションを図り、今後の日々の木の使い方について理解が深まった。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥134,523	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、市民が日々の消費行動を見直すことで森林保全を実現するため、環境・社会に配慮した”フェアウッド”なライフスタイルを提案している。また、震災後は、被災地において木材を使った復興支援を行っている。</p> <p>(使途)産地の見える木材利用のために”フェアウッドカフェ”を運営。お台場海浜公園や光が丘公園で行われた環境系イベントに出展し、宮城県の杉材を使いコースター作りワークショップを開催。また、東松島市の仮設住宅集会所へ木のベンチを寄贈。これらの活動に関わる資材の調達(80,000円)、イベントの実施費用(54,523円)に寄附金を充てた。</p> <p>(効果)フェアウッドカフェでは、親子連れ等100名程の参加があり、木の産地の話から、日本、世界の森林の現状について情報を提供し、木の使い方について参加者の理解を深めた。また、ベンチ寄贈により、仮設住宅生活が長引く被災者が集う場所の整備ができた。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥65,418	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、市民が日々の消費行動を見直すことで森林保全を実現するため、環境・社会に配慮した”フェアウッド”なライフスタイルを提案している。また、震災後は、被災地において木材を使った復興支援を行っている。</p> <p>(使途)産地の見える木材利用のために”フェアウッドカフェ”を運営。日比谷公園での環境系イベント、都内のカフェにおいて2か月間のフェアウッド普及展示および木工ワークショップを実施。これらの活動に関わる展示品、展示資料の作成(35,000円)、イベントの実施費用(30,418円)に寄附金を充てた。</p> <p>(効果)フェアウッドカフェのイベントに加え、カフェにおける2ヶ月間の常設展示を行ったことで、大勢の方々に身近な木材の使い方から世界の森林問題までを伝えることができた。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K071	団体名	財団法人国際緑化推進センター
連絡先 (電話／メール)	03-5689-3450	活動ホームページ (URL)	http://www.jifpro.or.jp
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	熱帯林造成事業		
寄附額合計	¥228,624		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥38,881	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当センターは、平成4年「熱帯林造成基金」を設置して以来、個人、団体、企業等からの寄附金を基に、東南アジア諸国で累計面積約6,760haの植林プロジェクトを実施しており、23年度は4カ国で447haの植林を実行中です。</p> <p>(使途)当該報告期間中に熱帯林造成基金にご寄附頂いた総額38,881円は、ミャンマー国マンダレー州バガン・ニャンウー地区で実施中の植林プロジェクト「カバニコムニティフォレスト造成事業」(全体計画:平成20年から平成24年で植林面積90ha、平成23年植林面積30ha、事業資金186万円)の事業資金の一部として活用しました。</p> <p>(効果)貴寄附金により約0.6haの植林が実施出来ました。当該地域は半乾燥地で貧困な地域であり、植林は地域の緑化、住民生活の向上等に大きく貢献するもので、今後ともプロジェクトの推進に活用させていただく考えです。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥96,899	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)国際緑化推進センターでは、1992年以来、一般市民、企業からの寄付金等により、東南アジア5カ国の荒廃地で植林活動を進めています。その実績は、2013年3月末時点で約71百ヘクタールに達しています。2012年度には、新たに350ヘクタールの植林を実施しました。</p> <p>(使途)24年4月までにご寄附戴いた37,070円は、ミャンマー国マンダレー州バガン・ニャンウー地区で、期間を延長した植林プロジェクト「カバニコムニティフォレスト造成事業」(全体計画120ヘクタール)の追加分(面積30ヘクタール、後年度の保育等を含めた事業資金296万円)の事業資金として活用しました。また、24年5月にご寄附戴いた59,829円は、25年に開始を予定するミャンマーでの新規プロジェクトの事業資金に活用することとしています。</p> <p>(効果)24年4月までのご寄付により、約0.4ヘクタールの植林が実施できました。当該地域は半乾燥地で貧困な地域であり、植林活動は地域の緑化、住民生活の向上等に大きく貢献するもので、プロジェクトのカウンターパートである環境保全・林業省の森林局からも高く評価されています。25年開始予定のプロジェクトへの支援を今後とも宜しくお願いします。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥54,782	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)国際緑化推進センターでは、平成4年以来、一般市民、企業からの寄附金等により、東南アジア5カ国の荒廃地で植林活動を進めています。その実績は、25年3月末時点で約71百ヘクタールに達しています。</p> <p>(使途)24年5月にご寄附戴いた59,829円と、それ以降、25年4月までにご寄附戴いた54,782円の合計114,611円は、25年5月に発足したミャンマー国マンダレー州バガン・ニャンウー地区の植林プロジェクト「チャウカンコミュニティフォレスト造成事業」(全体計画90ヘクタール)の事業資金の一部として活用しました。</p> <p>(効果)エコポイントのご寄附分により、約1.1ヘクタールの植林が実施できました。当該地域は半乾燥地で貧困な地域であり、植林活動は地域の緑化、住民生活の向上等に大きく貢献するものであることから、プロジェクトのカウンターパートである環境保全・林業省の森林局からも高く評価されています。このミャンマー半乾燥地帯での植林プロジェクトは、28年3月までの3カ年計画です。今後とも、ご支援の程宜しくお願いします。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥20,930	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)国際緑化推進センターでは、平成4年以来、一般市民、企業からの寄附金等により、東南アジア5カ国の荒廃地で植林活動を進めています。その実績は平成26年3月末時点で、約8千haに達しています。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた20,930円は、25年5月に発足したミャンマー国マンダレー州バガン・ニャンウー地区の植林プロジェクト「チャウカンコミュニティフォレスト造成事業」(全体計画90ha)の事業資金の一部として活用しました。</p> <p>(効果)エコポイントのご寄附分により、約0.3haの植林が実施できました。当該地域は半乾燥地で貧困な地域であり、植林活動は、地域の緑化、住民生活の向上等に大きく寄与するものであり、プロジェクトのカウンターパートである環境保全・林業省の森林局からも高く評価されています。「チャウカンコミュニティフォレスト造成事業」は、28年3月までの3カ年計画です。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥17,132	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)(公財)国際緑化推進センターでは、平成4年以来、一般市民、企業からの寄付金等により、東南アジア5カ国の荒廃地で植林活動を進めています。その実績は平成26年度末時点で、約8千haに達しています。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた17,132円は、25年5月に発足したミャンマー国マンダレー州バガン・ニャンウー地区の植林プロジェクト「チャウカンコミュニティフォレスト造成事業」(全体計画90ha)の事業資金の一部として活用しました。</p> <p>(効果)エコポイントのご寄附により、約0.2haの植林が実施できました。当該地域は半乾燥地で貧困な地域であり、植林活動は、地域の緑化、住民生活の向上等に大きく寄与するものであり、プロジェクトのカウンターパートである環境保全・林業省の森林局からも高く評価されています。「チャウカンコミュニティフォレスト造成事業」は、28年3月までの3カ年計画です。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K072	団体名	特定非営利活動法人樹木・環境ネットワーク協会
連絡先 (電話／メール)	03-5244-5447	活動ホームページ (URL)	http://www.shu.or.jp/
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	地域の生活に根付いた協働による里山の保全管理活動		
寄附額合計	¥212,384		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥32,181	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>全国13箇所の森づくりのうち、特に人の暮らしを昔から支えていた雑木林や里山保全を行う2箇所のフィールドで、間伐材の有効活用として間伐材をチップ化し園路に撒くためのチップターの購入費として、この度のご寄附32,181円を宛てさせていただきました。</p> <p>活動には、延べ1,299人の方に参加いただき、多様な生物が共存できる森づくりに貢献することができました。</p> <p>また、特に未来を担う子供達が森づくりや森での遊びを通じて自然の大切さを知ったり、里山保全の推進が実践できるよう、子供向けのヘルメットや、木工やクラフトを行うための小刀、ノコギリやクワなどの必要資材を購入しました。子供向けの活動を積極的に行う町田フィールドには、都内に在住する小学生とその保護者の方々や近隣の高校生がのべ189人参加し、保全活動を実践しながら自然の大切さを理解いただきました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥96,459	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>全国13箇所の森づくりのうち、特に人の暮らしを昔から支えていた雑木林や里山保全を行う9箇所のフィールドで使用し、下刈りや間伐に必要なヘルメットやノコギリ等の道具・活動備品の購入費として、この度のご寄附96,459円を宛てさせていただきました。</p> <p>活動には、延べ1378人の方に参加いただき、多様な生物が共存できる森づくりに貢献することができました。</p> <p>また、特に未来を担う子供達が森づくりや森での遊びを通じて自然の大切さを知ったり、里山保全の推進が実践できるよう、子供向けのヘルメットや、木工やクラフトを行うための小刀、ノコギリやクワなどの必要資材を購入しました。子供向けの活動を積極的に行う町田フィールドには、都内に在住する小学生とその保護者の方々や近隣の高校生がのべ252人参加し、保全活動を実践しながら自然の大切さを理解いただきました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥51,082	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>全国13箇所の森づくりのうち、特に人の暮らしを昔から支えていた雑木林や里山保全を行う9箇所のフィールドで使用し、下刈りや間伐に必要なヘルメットやノコギリ等の道具・活動備品の購入費として、この度のご寄附51,082円を宛てさせていただきました。</p> <p>活動には、延べ1580人の方に参加いただき、多様な生物が共存できる森づくりに貢献することができました。</p> <p>また、特に未来を担う子供達が森づくりや森での遊びを通じて自然の大切さを知ったり、里山保全の推進が実践できるよう、子供向けのヘルメットや、木工やクラフトを行うための小刀、ノコギリやクワなどの必要資材を購入しました。子供向けの活動を積極的に行う町田フィールドには、都内に在住する小学生とその保護者の方々や近隣の高校生がのべ415人参加し、保全活動を実践しながら自然の大切さを理解いただきました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥25,030	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当協会では全国14箇所のフィールドで森づくりや里山保全、緑化活動を行うとともに、整備されたフィールドを活用して観察会や自然体験プログラムなどを実施しています。フィールドは都市近郊の里山を中心に、上野動物園(東京)や久宝寺緑地(大阪)のような気軽に参加できる都市の緑の整備から、八ヶ岳(長野)や御杖村(奈良)のような高地の森の手入れまで多岐に渡り、それぞれの地域性や生物多様性に配慮しながら活動計画を立てて活動を実施しています。</p> <p>この度のご寄附25,030円は、下草刈りや間伐に必要なノコギリやヘルメット、木工やクラフトを行うための小刀、緑化に使用する植栽用の苗木、針金などの補充、購入に使用させていただきました。</p> <p>活動には会員の皆さんを中心に延べ1500人以上の方が参加。生物多様性豊かな森づくりに貢献しながら、自然のすばらしさ、大切さを実感していただくことができました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,632	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当会では全国14箇所の手入れが行われなくなった身近な里山や雑木林にて、各地域の環境特性に配慮しながら生物の多様性を有する森・緑地の復元や新たな利活用への提案を行うとともに、観察会や自然体験を通じ環境保全への意識啓発を推進しています。例年会員や地元住民の皆様、延べ1600人以上に参加いただいておりますが、エリアにより、機材や人手不足等の課題を抱えています。</p> <p>この度ご寄附頂いた7,632円は当会の資金と併せ、最近地元の学生や企業社員の受入れが増えた町田市の三輪フィールドでのノコギリやヘルメット等の資材購入費に充て、これまで未着手だった雑木の間伐や下刈りを通じ、多様な生き物の生息地の復元に貢献しました。</p> <p>今後も特に団体が参加しやすい環境づくりに注力するとともに、特に長年の課題である産業廃棄物の不法投棄の撤去を進め、地元の方がより訪れやすい環境とし、更なる参画の輪を拡大したいと考えています。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K073	団体名	財団法人世田谷トラストまちづくり
連絡先 (電話／メール)	03-6407-3311	活動ホームページ (URL)	http://www.setagayatm.or.jp
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	自然環境や歴史的・文化的環境の保全・創出などトラスト運動の推進事業		
寄附額合計	¥374,581		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥58,081	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当財団は、世田谷区内にある民有の緑地を保全するために、全国で第1号の緑地管理機構として指定を受け、所有者と契約を結んで「市民緑地」を公開するとともに、一部の緑地では、ボランティアの参加を得て維持管理を行っております。環境寄附が開始された平成21年度からこれまでの期間に、新たに4ヶ所の市民緑地契約を締結し、現在11ヶ所となり、このうち10ヶ所を公開しております。また、当財団の活動を支援する制度としてトラスト会員制度を設けており、平成24年2月末現在4,675人からご支援頂き、会費や寄附金は市民緑地等の保全費用に使わせて頂いております。</p> <p>(使途)この度ご頂戴した58,081円は、引き続き貯めさせて頂き、平成23年5月以降のご寄附と合わせ、市民緑地の花苗購入をはじめ、樹木剪定等の維持管理費や、ボランティア活動支援や普及イベント開催用道具購入費等に有効に使わせて頂く予定です。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥98,759	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、世田谷区内にある民有の緑地を保全するために、全国で第1号の緑地管理機構として指定を受け、所有者と契約を結んで「市民緑地」を公開するとともに、一部の緑地では、ボランティアの参加を得て維持管理を行っております。環境寄附が開始された平成21年度からこれまでの期間に、新たに5ヶ所の市民緑地契約を締結し、現在12ヶ所となり、このうち11ヶ所を公開しております。また、当財団の活動を支援する制度としてトラスト会員制度を設けており、平成25年2月末現在4,945人からご支援頂き、会費や寄附金を市民緑地等の保全費用に使わせて頂いております。</p> <p>(使途)前回の58,081円と今回分98,759円の合計156,840円は、引き続き貯めて平成24年5月以降のご寄附と合わせ、市民緑地の花苗購入をはじめ、樹木剪定等の維持管理費や、ボランティア活動支援、普及啓発イベント開催用道具購入費に有効に使わせて頂く予定です。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥126,681	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、世田谷区内にある民有の緑地を保全するために、全国で第1号の緑地管理機構として指定を受け、所有者と契約を結んで「市民緑地」を公開するとともに、一部の緑地では、ボランティアの参加を得て維持管理を行っております。環境寄附が開始された平成21年度からこれまでの期間に、新たに6ヶ所の市民緑地契約を締結し、現在13ヶ所となり、公開しております。また、当財団の活動を支援する制度としてトラスト会員制度を設けており、平成26年2月末現在5,205人からご支援頂き、会費や寄附金を市民緑地等の保全費用に使わせて頂いております。</p> <p>(使途)前回の156,840円と今回分126,681円の合計283,521円は、引き続き貯めて平成25年5月以降のご寄附と合わせ、市民緑地の花苗購入をはじめ、樹木剪定等の維持管理費や、ボランティア活動支援、普及啓発イベント開催用道具購入費に有効に使わせて頂く予定です。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥70,429	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、世田谷区内にある民有の緑地を保全するために、全国で第1号の緑地管理機構として指定を受け、所有者と契約を結んで「市民緑地」を公開するとともに、一部の緑地では、ボランティアの参加を得て維持管理を行っております。環境寄附が開始された平成21年度からこれまでの期間に、新たに6ヶ所の市民緑地契約を締結し、現在13ヶ所となり、公開しております。また、当財団の活動を支援する制度としてトラスト会員制度を設けており、平成27年2月末現在4,968人からご支援頂き、会費や寄附金を市民緑地等の保全費用に使わせて頂いております。</p> <p>(使途)前回の283,521円と今回分70,429円の合計353,950円は、引き続き貯めて平成26年5月以降のご寄附と合わせ、市民緑地の花苗購入をはじめ、樹木剪定等の維持管理費、ボランティア活動支援、普及啓発イベント開催用道具購入費に有効に使わせて頂く予定です。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥20,631	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、世田谷区内の民有の緑地を保全するため、全国で第1号の緑地管理機構の指定を受け、所有者と契約を結び「市民緑地」を公開するとともに、一部の緑地ではボランティアの参加を得て維持管理を行っております。環境寄附が開始された平成21年度からこれまでに、新たに6ヶ所の市民緑地契約を締結し、現在13ヶ所となりました。また、当団体ではトラスト会員制度を設けており、平成27年3月末現在5,248人からご支援頂き、会費や寄附金を市民緑地等の保全費用に使わせて頂いております。</p> <p>(使途)前回の353,950円と今回分20,631円の合計374,581円は、岡本一丁目谷戸の坂市民緑地の施設修繕の維持管理費の一部として平成28年3月に使用いたしました。</p> <p>(効果)市民緑地契約箇所増加に伴い、維持管理コストの抑制策として、施設修繕を先延ばしにしていた緑地の老朽化した四つ目垣の更新を図ることができました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K074	団体名	一般財団法人セブン-イレブン記念財団
連絡先 (電話／メール)	03-6238-3872	活動ホームページ (URL)	http://www.7midori.org/katsudo/saigaifukugen/tohoku_fukkou/index.html
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	東日本大震災復興の森づくり		
寄附額合計	¥3,372,521		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥713,437	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2000年の雄山の大噴火により、全島民が島外に避難する大きな被害に遭った三宅島(東京都)の森林再生と島の復興を目的に、2008年からボランティア活動を実施しています。</p> <p>(使途)2011年10月7日～9日、セブン&アイHLDGS.グループ9社の社員、一般の参加者91名が三宅島で植樹活動を行いました。三宅島の村長、副議長、三宅島支庁、島民の皆さん50名の参加もあり、総計約140人で被災地約1haにヤブツバキ、ヒサカキとオオバイボタなど3,000本を植樹しました。</p> <p>(効果)この度のご寄附は、旅費や植樹の苗木代、地ごしらえ費用等に使用させていただきました。寄附をいただいたことにより植樹面積及び植樹本数の拡大につながりました。今後は更に範囲を広げて、三宅島の森林再生に取り組んでいきます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥1,285,362	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2000年の雄山の大噴火により、全島民が島外に避難する大きな被害に遭った三宅島(東京都)の森林再生と島の復興を目的に、2008年からボランティア活動を実施しています。</p> <p>(使途)2012年5月11日～13日、セブン&アイHLDGS.グループ11社の社員、一般の参加者102名が三宅島で植樹活動を行いました。今回は2009年10月に実施した植樹場所の補植を中心に実施。地元緑化作業員の方の指導の下、ヒサカキ・ヤブツバキ・スダジイなどの苗木3000本を約2haに植樹しました。</p> <p>(効果)この度のご寄附は、旅費や植樹の苗木代、地ごしらえ費用等に使用させていただきました。今までの寄附金額から使用した費用を差し引きますと繰越金額は1,990,966円になります。この寄附金は寄附対象事業「三宅島緑化プロジェクト」に使用します。今後は更に範囲を広げて、三宅島の森林再生に取り組んでいきます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥943,790	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当財団では、2000年の雄山の大噴火により全島民が島外に避難する大きな被害に遭った三宅島(東京都)の森林再生と島の復興を目的に植樹活動を実施してまいりましたが、2012年4月に三宅島沖で発生した地震の影響により、継続した植樹活動が困難な状況となりました。このため、同じく災害地の森林再生を目的として、東日本大震災によって被害を受けた地域の「復興につながる森づくり」を目指して活動を行いました。</p> <p>(使途)2012年9月、宮城県において総勢195名、1,500本のスギの苗木を植樹すると同時に健全な森づくりのための間伐作業を行いました。前述の活動で使わせていただいた金額は1,000,000円で、2013年4月時点での繰越金は1,934,756円となっております。</p> <p>(効果)この繰越金につきましては、引き続き「復興につながる森づくり」のために使用させていただきます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥334,586	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当財団では森林再生を目的として、東日本大震災によって被害を受けた地域の「復興につながる森づくり」を行なっています。2013年11月に宮城県大崎市において2,000本のヒノキの苗木の植樹作業を、2014年5月に宮城県名取市において5,000本のクロマツの苗木の植樹作業を総勢289名で実施しました。</p> <p>前述の活動において、今期ご寄附いただいた334,586円と、前回の繰越金を合わせた中から、1,952,452円を苗木代や道具費用の一部として活用させていただきました。</p> <p>2014年5月末日時点での繰越金は316,890円となっております。この繰越金につきましては、引き続き「復興につながる森づくり」のために活用させていただきます。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥95,346	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当財団では、森林再生を目的として東日本大震災によって被害を受けた地域の「復興につながる森づくり」を、セブン-イレブン加盟店のオーナーやセブン-イレブン本部社員が一体となって行なっています。2014年9月に宮城県大崎市において植樹に向けた竹林整備、及び2,000本(桧1,500本、杉500本)の植樹を実施、続いて2015年6月には更なる植樹に向けて竹林整備を集中的に行いました。これらの活動には総勢245名が参加しています。</p> <p>前述の活動において、今期ご寄附いただいた95,346円と前回までの繰越金316,890円の合計から、苗木代や道具費用として399,600円を使用させていただきました。これにより2015年7月末での繰越金は12,636円となります。</p> <p>この繰越金につきましては、引き続き「復興につながる森づくり」のために活用させていただきます。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K075	団体名	特定非営利活動法人地球と未来の環境基金
連絡先 (電話／メール)	03-5298-6644	活動ホームページ (URL)	http://www.eco-future.net/
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	途上国で減少している熱帯林の保全事業		
寄附額合計	¥220,122		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥34,124	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>今回頂いたご寄附34,124円(団体指定寄附:6,612円、均等配分寄附:27,512円)は、インドネシア・カリマンタン島での苗木作りの費用の一部として活用させて頂きました。</p> <p>活動地のランダウ保護区は指定保護地であるにも関わらず、違法伐採などの乱伐によりほとんどの森林が失われ土壌の荒廃が進んでいます。ここはもともと貴重な野生動物や植物の生息地であり、現在わずかに点在している1ha～5haの小さな森林(パッチフォレスト)にはオランウータンやテナガザルなどが隠れるように生息しています。この地の森林回復を目指して、今期は荒廃した土壌でも育つ苗木作りが現地のNGO・FNPFの技術により行われました。今回のご寄附はその苗木作り費の一部とさせていただきます、約1,000本の接ぎ木苗を作ることができました。来期はそれらの苗木を使って植林を実施することができます。</p> <p>今後もこの活動を発展させていきたいと思ひます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥97,059	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>今回頂いたご寄附97,059円(ポイント取得者からの寄附:37,230円、均等配分寄附:59,829円)は、昨年同様にインドネシア・カリマンタン島のランダウ保護区の森林再生のための苗木づくりに活用させて頂きました。</p> <p>現地では、NGO・FNPFスタッフを中心に約14村の村人やボランティアが協力し、点在する森をつなぐため、様々な技術・手法を使って苗木づくりに取り組んでいます。今期は、120,000本の苗木づくりの一部を支援することができました。この地では、養分が非常に乏しくうまく育つ樹種が少ないこと、試験的に植えた樹種が良い結果をもたらしていること、また近隣の森で採取が容易なこと等からウバサマク、ブラウン、プランゲランの苗木を特に多く育てています。試行錯誤し大切に育てられる苗木は、植樹後約80%の高い割合で根付き森をつなぐ木々へと生長しています。</p> <p>今後とも皆様の温かいご支援をよろしくお願ひします。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥54,379	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>今回頂いたご寄附54,379円(ポイント取得者からの寄附:14,377円、均等配分寄附:40,002円)は、ブラジル・アマゾン地域で12月に実施した1,200本の植樹活動の一部として活用させて頂きました。</p> <p>この活動は、「キッズ植樹祭」と題して毎年開催しており、今回は約400人が参加しました。また、メインの参加者である地元の小学生には、植樹だけでなく森の機能や重要性を伝える環境教育も行なっています。この活動を通じて、植樹の活動に加え、楽しみながら森や自然の大切さについて学ぶ機会を提供することができました。森林の再生は一朝一夕にはいきませんが、子ども達を含む地域住民の森林を始めとする環境保全への理解が一つの大きな鍵となります。</p> <p>今後とも、皆さまの温かいご支援をお願いします。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥21,929	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>今回頂いたご寄附21,929円(ポイント取得者からの寄附:7,245円、均等配分寄附:14,684円)は、ブラジル・アマゾン地域で12月に実施した2,507本の植樹活動の一部として活用させて頂きました。</p> <p>この活動は、「キッズ植樹祭」と題して毎年開催しており、今回地元の小学校2校、近隣の市にある3校をはじめ、その父兄や地元住民など約250人が参加しました。また、植樹した場所は、7年前森林を開墾し現在は休耕していた土地であったため、根を抜く作業もあり一段と労力がかかるものでしたが、同地を提供してくれた地元住民はじめ、小学生、父兄と多様な人々が参画し、森の大切さを共有できる機会は、環境教育・意識的な側面でも重要な意味をもちます。</p> <p>この度も継続してこの様な活動できましたこと、皆さまのご支援に感謝申し上げます。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥12,631	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>今回頂いたご寄附12,631円(ポイント取得者からの寄附:7,357円、均等配分寄附:5,274円)は、ブラジル・アマゾン地域で12月に開催した現地NGOおよび小学校と連携した植樹活動の一部として活用させて頂きました。今回は小学校の生徒・教員を含め約150名が参加し、500本の植樹を行いました。</p> <p>当地では、現地NGOの働きかけにより環境教育に対する意識も次第に高まってきており、今回のように楽しみながら森の大切さを共有できる機会は、子どもたちを始め関わる教員など関係者にとっても重要な意味を持ちます。植樹した苗木は現地NGOスタッフも草刈などメンテナンスを行い、共に生育を見守っていく予定です。</p> <p>この度も継続してこの様な活動できましたこと、皆さまのご支援に心より感謝申し上げます。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K078	団体名	一般財団法人C.W.ニコル・アフンの森財団
連絡先 (電話／メール)	026-254-8081	活動ホームページ (URL)	http://www.afan.or.jp/af-supporter/ecopoint.html
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	生物多様性あふれる豊かな森の再生		
寄附額合計	¥671,608		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥112,180	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)弊団体が管理している「アフンの森」は地域本来の森林生態系を復元することを意図しています。直接的な森林整備作業とあわせて、生物調査も実施しており、生き物の視点から再生活動を評価することに取り組んでいます。</p> <p>(使途)この度頂戴しました112,180円は、2010年6月から9月に実施した下草刈りの作業費の一部に充てさせていただきました。下草が繁茂して幼木を覆って生長を妨げてしまわないように、また、林相転換して間もないエリアの林床(森の地面に近い部分)に再びヤブが形成されないように管理をすること、を意図して実施しているものです。</p> <p>(効果)下草刈りは、決められたエリアをただ刈るのではなく、新しい草木の発芽を見極めながら刈るので、想像以上に手間がかかります。この作業をのべ約12ha(野球のグラウンド約12面分)で実施し、計画していた面積を終えることができました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥175,389	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では長野県信濃町にある「アフンの森」で本来の森林生態系を復元・再生する活動を行っています。整備活動と同時に生物調査を実施し、生き物の目線から再生活動を評価しようと取り組んでいます。</p> <p>(使途)この度ご寄附を頂いた175,389円は未整備エリア(約12ha)の整備作業費用の一部に充てさせていただきました。ヤブ刈りやその片付け作業、地ごしらえの作業をおこない、林相転換のためブナ、ミズナラなど広葉樹を中心に植樹を行いました。また植栽木を保護するための下草刈り作業をおこないました。</p> <p>(効果)約12haの未整備エリアのヤブ刈り、地ごしらえを行い約1200本の植樹を行う事が出来ました。今後、植樹木が成長し伸びた草によって枯死しないよう下草刈りを継続的に実施していきます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥179,479	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では長野県信濃町にある「アフンの森」で本来の森林生態系を復元・再生する活動を行っています。整備活動と同時に生物調査を実施し、生き物の目線から再生活動を評価しようと取り組んでいます。</p> <p>(使途)今回いただいたご寄附は未整備エリア(約12ha)及び前年度の住宅エコポイント寄附金により植林をおこなったエリアの整備作業費の一部にあてさせていただきました。未整備エリアではヤブ刈りやその片付け作業、地ごしらえの作業をおこない、また植林地では植栽木を保護・育成するための年2回の下草刈り、枯死木の補植作業(約100本)をおこないました。</p> <p>(効果)調査の結果、前年度ヤブ刈りをおこなったエリアでは下層の植物種が約35%増え、また、植林エリアでは下草刈りなど整備作業の結果、環境省および長野県レッドリストに記載されている絶滅危惧種の植物が新たに1種確認されるなど生物多様性が確実に向上しています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥58,929	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では長野県信濃町にある「アフンの森」で本来の森林生態系を復元・再生する活動をおこなっています。整備活動と同時に生物調査を実施し、生き物の目線から再生活動を評価しようと取り組んでいます。</p> <p>(使途)今回いただいたご寄附は3年前の住宅エコポイント寄附金により植林をおこなったエリアの整備作業費の一部にあてさせていただきました。植林地において植栽木を保護・育成するための年2回の下草刈り、枯死木の補植作業(約50本)をおこないました。</p> <p>(効果)ササなどに覆われ、点在する程度であったスミレ類が、下草刈りなどの施業により著しく個体数が増加し、美しい群生も見られるようになりました。また、管理作業により植林木が着実に成長することはもちろん、新たなスミレ類の定着やエンレイソウの増加など、下層植生も豊かになりつつあり、確実に生物多様性が向上してきています。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥145,631		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では長野県信濃町にある「アフンの森」で本来の森林生態系を復元・再生する活動をおこなっています。整備活動と同時に生物調査を実施し、生き物の視点から再生活動を評価しようと取り組んでいます。</p> <p>(使途)今回いただいたご寄附は4年前の住宅エコポイント寄附金により植林をおこなったエリア周辺の整備作業費の一部にあてさせていただきました。植林地において植栽木を保護・育成するための年2回の下草刈り、枯死木の補植作業(22本)をおこないました。</p> <p>(効果)昨年生育数が増大したスミレ類が下草刈りなどの施業によりさらに個体数を増加させました。また、昨年確認されたエンレイソウ類も、草刈りを全面的なものから選択的草刈りにしたことで個体数を増やしていることが確認できました。管理作業により植林木が成長することはもちろん、光環境の改善で下層植生もさらに豊かになり、確実に生物多様性が向上しています。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K079	団体名	特定非営利活動法人森林環境
連絡先 (電話／メール)	0265-81-4803	活動ホームページ (URL)	http://www.npo-shinrin.jp/
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	地域の森林の整備・管理、CO2吸収源としての機能を高める事業		
寄附額合計	¥317,466		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥41,689	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、長期的な展望のもとで職員自らが専門的な知識をもつように研修を積み重ね施業や管理を行い細やかな配慮に基づいた森林づくりを目指しています。</p> <p>(使用)この度ご寄附いただいた41,689円と当法人の資金を合わせてレーザー距離計搭載コンパスと測量データ管理用のパソコン、また材木運搬車両を購入することができました。また、長野県上伊那郡飯島町「与田切ふるさとの森と川の整備」のボランティア活動にも寄附金の一部を使わせていただき、国土交通省・長野県・飯島町・地域の住民の方達と共に与田切川沿の河畔林を整備しています。</p> <p>(効果)河畔林は間伐することで樹木の根が発達し、土石流や崩壊等の勢いを軽減することができ、下流域にきれいな水を供給することができます。また、整備された河畔林ではイベントを行いバードウォッチングや自然・生物の学習をして地域の方達、子供達と交流を図りました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥106,838	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>「命の水は森林から生まれる」そんな思いで当法人では里山の森林整備活動を行っています。</p> <p>地域の恵みである与田切川の河畔林の整備を、地域住民の方と国土交通省天竜川河川事務所・長野県・飯島町と共にボランティア活動で外来植物の駆除や下草刈りの作業に寄附金を全額使わせていただきました。</p> <p>河畔林は、外来植物を駆除することで日本固有の植物が生える林にしていきます。また、間伐や下草刈りをする事で、樹木の根が発達し、土石流や崩壊等を防ぎ下流域にきれいな水を供給することが出来ます。また、今年度もイベントを行い自然・水中生物の観察会をして地域の子供たちに自然のすばらしさ大切さを体験してもらいました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥111,879	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当法人では、地域住民に対して、森林と自然環境に関する事業を行い、森林及び自然環境保全と普及を目的として里山整備を進めています。現在は近隣の山林所有者から施業管理を請負い、伐採事業・路網整備等を行っている中、最近では松くい虫被害対策としての間伐事業も行っており、イベント・ボランティアにも積極的に参加しています。その中で、昨年からは間伐した木材をボランティアとして参加している地元の河川敷のネットワーク活動の中で有効利用していきたいと考え、間伐した木材をキノコの原木として利用をし、キノコの菌を植付け、河川敷にて栽培をし、ネットワークに参加している児童に収穫を楽しんでもらおうと計画をし活動しています。</p> <p>この度の寄附金でキノコの菌(シイタケ・クリタケ・ナメコ)と駒打ちの時に使用する工具等を購入させていただきました。</p> <p>キノコの菌を植えつけた椀木はある程度の管理が必要です。定期的に社員全員で参加している河川敷の除草作業と同時に椀木の様子を見ながら収穫の時期を待ちます。ネットワークに参加している児童とご家族には、イベントの折に健全な森林育成を目的とした間伐の意義と、その間伐材の有効利用という講話と共にキノコの収穫を楽しんでいただき、森林や自然環境を身近に感じ学んでもらうことができました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,929	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当法人では、森林及び自然環境保全と普及を目的として里山整備を進めています。地域の山林所有者から施業を請負、伐採・路網整備等を行っている中、現在は松くい虫被害対策として更新伐事業等にも積極的に取り組んでおります。松くい虫被害対策の中では、健全木と被害木の区別のための事前調査が重要となります。</p> <p>この度の寄附金はその事前調査時に使用するマーキングテープや杭頭を購入するために全額使用させていただきました。</p> <p>その後、被害木を伐倒後、山地内から搬出し処理を施し松くい虫被害の拡大を抑制していきます。今後も引き続き松くい虫対策には力を入れて活動し、里山の健全育成を目指していきたいと考えております。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥39,131	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当法人では、森林及び自然環境保全の普及を目的として里山整備を進めています。その中で森林整備の意義として、間伐の重要性を知ってもらおうとパンフレットを作成し、育樹祭の際に緑の少年団として参加した地元小学生に記念品と共に配布いたしました。</p> <p>この度の寄附金39,131円と当法人の資金を合わせそのパンフレット作製費と記念品代に充てさせていただき、平成26年度と27年度に行われた育樹祭に参加した計185名の地元小学生に配布することができました。</p> <p>森林整備の中で、間伐という作業がどのように山を守り、その森林が命の水を育んでいくのかという里山の保全を知ってもらうことができました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K080	団体名	環境NGO イカオ・アコ
連絡先 (電話／メール)	0569-87-2319	活動ホームページ (URL)	http://ikawako.com
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	フィリピンにおけるマングローブ植林事業		
寄附額合計	¥230,471		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥33,879	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>寄附金を受けて、2011年5月から2012年3月にかけて、ネグロス島のイログ市、ボホール島のウバイ郡で行政、コミュニティ、イカオ・アコが共同で植林のための計画作りや調整を行ってきました。これらの行政ですでに約5haの植林事業を開始しており、苗が順調に育っています。元の林に戻るには時間がかかりますが、参加者の小学生や村人たちの環境意識が徐々に芽生えています。ごみのポイ捨ても以前に比べると少なくなった現象が出現しています。他の地域でも今後、必要な手続きを踏んだ上で植樹活動に入る予定です。</p> <p>これらの活動に寄附金から、サイトまでの交通費、スタッフの賃金、村人へのスナックの提供、交渉のための書類作成費・通信費、苗代などに使用させていただきました。</p> <p>イカオ・アコでは、皆さんが参加できるマングローブ植樹・スタディーツアーも開催しておりますので、ぜひフィリピンでの植樹活動にご参加下さい。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥119,457	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>寄附金を受けて、2011年5月から2012年8月にかけて、ネグロス島のイログ市、ボホール島のウバイ郡で行政、コミュニティ、イカオ・アコが共同で植林のための計画作りや調整を行ってきました。これらの行政ですでに約4haの植林事業を開始しており、苗が順調に育っています。植林参加者の小学生や高校生、村人たちの環境意識が徐々に変化しています。植林後の苗の管理が必要で、専門家の指導の下、村人が実施してきました。今では、管理の方法をマスターし、管理を自主的に行うようになっています。</p> <p>これらの活動に寄附金から、サイトまでの交通費、スタッフの賃金、植林参加者へのスナックの提供、交渉のための書類作成費・通信費、苗代などに全額使用させていただきました。</p> <p>イカオ・アコでは、皆さんが参加できるマングローブ植樹・スタディーツアーも開催しておりますので、ぜひフィリピンでの植樹活動にご参加下さい。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥51,079	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>2012年5月から現在まで、ネグロス島のイログ市、ボホール島のウバイ郡で行政、コミュニティ、イカオ・アコが共同で植林のための計画作りや調整を行ってきました。これらの行政ですでに8ha以上の植林事業を開始しており、苗が順調に育っています。元の林に戻るには時間がかかりますが、参加者の小学生や村人たちの環境意識が徐々に芽生えています。ごみのポイ捨ても以前に比べると少なくなった現象が出現しています。他の地域でも今後、必要な手続きを踏んだ上で植樹活動に入る予定です。</p> <p>これらの活動に寄附金から、サイトまでの交通費、スタッフの賃金、村人へのスナックの提供、交渉のための書類作成費・通信費、苗代などに使用させていただきました。</p> <p>イカオ・アコでは、皆さんが参加できるマングローブ植樹・スタディーツアーも開催しておりますので、ぜひフィリピンでの植樹活動にご参加下さい。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,428	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>現在まで、ネグロス島、ボホール島で行政、イカオ・アコが共同で植林のための計画作りを行ってきました。すでに15ha以上の植林事業を開始しており、苗が順調に育っています。元の林に戻るには時間がかかりますが、参加者の小学生や村人たちの環境意識が徐々に芽生えています。ごみのポイ捨ても以前に比べると少なくなった現象が出現しています。他の地域でも今後、必要な手続きを踏んだ上で植樹活動に入る予定です。</p> <p>これらの活動に寄附金から、サイトまでの交通費、スタッフの賃金、村人へのスナックの提供、交渉のための書類作成費・通信費、苗代などに使用させていただきました。</p> <p>イカオ・アコでは、皆さんが参加できるマングローブ植樹・スタディーツアーも開催しております。また、国際協力研修センターを立ち上げ、常時、日本人ボランティアを受け入れる施設を整えました。ぜひフィリピンでの植樹活動にご参加下さい。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥8,628	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>現在まで、ネグロス島、ボホール島で行政、イカオ・アコが共同で植林のための計画作りを行ってきました。すでに15ha以上の植林事業を開始しており、苗が順調に育っています。元の林に戻るには時間がかかりますが、参加者の小学生や村人たちの環境意識が徐々に芽生えています。</p> <p>これらの活動に寄附金から、サイトまでの交通費、スタッフの賃金、村人へのスナックの提供、交渉のための書類作成費・通信費、苗代などに使用させていただきました。</p> <p>イカオ・アコでは、皆さんが参加できるマングローブ植樹・スタディーツアーも開催しております。また、国際協力研修センターを立ち上げ、常時、日本人ボランティアを受け入れる施設を整えました。ぜひフィリピンでの植樹活動にご参加下さい。(http://ikawako.com/volunteer/mangrove-planting/)</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K081	団体名	特定非営利活動法人地域国際活動研究センター
連絡先 (電話／メール)	052-935-7126	活動ホームページ (URL)	http://cdic.aift.jp/
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	東ティモール国での植林による環境保護事業		
寄附額合計	¥260,832		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥35,940	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>東ティモール(リキサ県バザルテテ郡マウメタ村)にて現地NGO(Firma Buras)、マウメタ村村民と連携して村の共有地にある水源にて植林活動を行っています。植林するための幼木を育てるナーサリー(圃場)の整備や現地の村人を雇用して植林活動を行っており、村人が植林をする維持管理システムができつつあります。水源林の復活を自分の村の誇りとして語る村人も出始め、植林による村人の意識変化も垣間見られるようになりました。</p> <p>家電・住宅エコポイントで寄附金と当団体の資金を併せ、12,000ドル(邦貨換算約921,500円)(76.79円/\$。2011年9月レート)を、村内にあるナーサリーの維持管理費3,000ドルおよび共有地水源植林活動費9,000ドルとして使用しました。今後も活動を継続し、女性の参画など植林活動に参加する村人の増員を目指します。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥103,457	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>東ティモール民主共和国リキサ県バザルテテ郡マウメタ村にて現地NGO(Firma Buras)、マウメタ村村民と連携して村の共有地にある水源にて植林活動を行っています。植林するための苗木を育てるナーサリー(圃場)の整備・運営や現地の村人を雇用して植林活動をしており、村人が植林をする共有地の維持管理システムができつつあります。水源林の復活を自分の村の誇りとして語る村人も出始め、植林による村人の環境への意識変化も垣間見られるようになりました。</p> <p>住宅エコポイントの寄附金と当団体の独自資金を併せ\$600(邦貨換算約47500円)(79.26円/\$。2012年6月レート)を、村内に建設したナーサリーの寒冷紗交換など修繕費に充てました。また、植林に用いる苗木や種の購入費用として\$700(邦貨換算約60,000円)(85.81円/\$。2013年1月レート)を使用しました。なお、活動の際は当団体のスタッフも現地入りし、村人とともに作業をしています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥75,379	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>東ティモール民主共和国リキサ県バザルテテ郡マウメタ村にて現地NGO(organizasaun Mankledo)、マウメタ村村民と連携して村の共有地にある水源にて植林活動を行っています。植林するための苗木を育てるナーサリー(圃場)の整備・運営や現地の村人を雇用して植林活動をしており、村人が植林をする共有地の維持管理システムができつつあります。今年は専門家による苗木研修も行い、水源林の復活が少しずつ目に見えてきました。これにより、植林による村人の環境保全への意識も垣間見られるようになりました。</p> <p>住宅エコポイントの寄附金と当団体の独自資金を併せ\$800(邦貨換算約79,500円)(99.40円/\$。2013年10月レート)を、村内に建設したナーサリーの苗木用ポット購入などの費用に充てました。なお、活動の際は当団体のスタッフも現地入りし、村人とともに作業をしています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥23,428	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>東ティモール民主共和国リキサ県バザルテテ郡マウメタ村にて現地NGO(organizasaun Mankledo)、マウメタ村村民と連携して村共有の水源林にて植林活動を行っています。植林用の苗木を育てるナーサリー(圃場)の整備・運営や現地村人を雇用して植林活動をしており、村人が植林をする共有地の維持管理システムができつつあります。最近では、ローカルスタッフの育成成果も徐々にみられるようになり、液肥・堆肥づくりや接ぎ木の技術を習得しました。</p> <p>住宅エコポイントの寄附金と当団体の独自資金を併せ\$250(邦貨換算約25,500円)(102.0円/\$。2014年8月レート)を、苗木や種の購入費用に充てました。なお、活動には当団体のスタッフも現地入りし、村人とともに作業をしています。活動については当団体のブログにもその様子を掲載していますので、キーワード:“CDIC ブログ”もご参照下さい。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥22,628	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>東ティモール民主共和国リキサ県バザルテテ郡マウメタ村にて現地NGO(organizasaun Mankledo)、マウメタ村村民と連携して村の共有地にある水源にて植林活動を行っています。植林するための苗木を育てるナーサリー(圃場)の整備・運営や現地の村人を雇用して植林活動をしており、村人が植林をする共有地の維持管理システムができつつあります。今年は苗木研修も継続して行い、水源林の復活が成長した樹木によっても目に見えてきました。これにより、植林による村人の環境保全への意欲も垣間見られるようになりました。</p> <p>住宅エコポイントの寄附金と当団体の独自資金を併せ\$700(邦貨換算約87,150円)(124.50円/\$。2015年7月レート)を、村内に建設したナーサリーの苗木用ポット購入などの費用に充てました。なお、活動の際は当団体のスタッフも現地入りし、村人とともに作業をしています。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K082	団体名	特定非営利活動法人アクティブ近江富士
連絡先 (電話／メール)	077-588-1840	活動ホームページ (URL)	http://www.geocities.jp/actoumifuji/
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	環境の保全を図る事業、福祉の増進を図る事業		
寄附額合計	¥216,170		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥32,078	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>環境保全のため管理している「さくら緑地(21,000m²)」の芝地(15,000m²)、樹木(約500本桜他)、低木類(ツツジ、サツキ、ザザンカなど600m²)の管理用として、家電エコポイント寄附金と合算して、次の作業用機器を購入し、作業の能率アップ、軽減化を大幅に改善することが出来ました。</p> <p>自走式草刈機 3台 エンジン式穴あけ機 1台 エンジン式トリマー 1台 消毒用噴霧器 1台 電動式トリマー 3台 刈払い機 2台 発電機 1台</p> <p>自走式草刈機の充実により芝地の管理が数段向上しなお、桜の樹木の消毒も高性能の噴霧器により、高木まで消毒できるようになりました。また、トリマーの使用により剪定の能率が向上し仕上りが綺麗になりました。また、堆肥ボックスを製作して剪定枝葉の堆肥化を行い、エンジン式穴あけ機より土壌改良を行っています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥96,957	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>前年度に引き続き、「環境保全のため管理している「さくら緑地(21,000m²)」の芝地(15,000m²)、樹木(約500本桜他)、低木類(ツツジ、サツキ、ザザンカなど600m²)の管理用として家電エコポイント寄附金と合算して、次の作業用機器を購入し、作業の能率アップ、軽減化を大幅に改善することが出来ました。</p> <p>自走式草刈機 1台 エンジン式穴あけ機 1台 電動式トリマー 5台 刈払い機 2台 発電機 1台</p> <p>自走式草刈機の充実により芝地の管理が数段向上し、なおトリマーの使用により剪定の能率が向上し仕上りが綺麗になりました。また、堆肥ボックスを製作して剪定枝葉の堆肥化を行い、エンジン式穴あけ機より土壌改良を行っています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥62,579	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>前年度に引き続き、環境保全のため管理している、さくら緑地(21000m²)の芝地(15,000m²)、樹木(約500本桜他)、低木類(ツツジ、サツキ、サザンカなど600m²)の管理用として、次の作業用機器を購入しました。</p> <p>エンジン式穴あけ機用の替刃、自走式草刈機用の替刃、刈払い機替刃</p> <p>上記各種替え刃により、切れ味が向上し芝地の仕上りがより良くなり、また作業の能率も改善されました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,428	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>前年度に引き続き、環境保全のため管理している、さくら緑地(21,000平方メートル)の芝地(15000平方メートル)、樹木(約500本桜他)、低木類(ツツジ、サツキ、サザンカなど600平方メートル)の管理用として、次の作業用機器を購入しました。</p> <p>自走式草刈機用の替刃、刈払機用の替刃</p> <p>上記各種替刃により切れ味が向上し芝地の仕上がり良くなり、また、作業の能率も改善されました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,128	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>前年度に引き続き、環境保全のため管理している、さくら緑地(21,000平方メートル)の芝地(15000平方メートル)、樹木(約500本桜他)、低木類(ツツジ、サツキ、サザンカなど600平方メートル)の管理用として、次の作業用機器を購入しました。</p> <p>刈払機用の替刃</p> <p>上記替刃により切れ味が向上し作業の能率が改善されました。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K083	団体名	特定非営利活動法人里山倶楽部
連絡先 (電話／メール)	072-333-0309	活動ホームページ (URL)	http://www.satoyamaclub.org/
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	エコポイント寄附の活用による里山林整備事業		
寄附額合計	¥341,021		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥32,090	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、荒廃した里山林約20haを対象に、草刈り管理や雑木林の更新、薪炭林の育成を行っています。また、里山への理解を深め、多くのボランティアや子供たちを楽しみながら管理作業に参加いただけるような環境教育プログラムを毎月1回実施しています。</p> <p>(使途)このたびご寄附いただいた32,090円と当会の資金をあわせて、ボランティアのみなさんや子供たちに「里山源流米(里山の水で栽培している無農薬米)」を提供するカマドと炊飯器を購入いたしました。</p> <p>(効果)今回購入したカマドで美味しいご飯を食べいただくことで、里山の手入れがきれいな水やおいしいお米につながることを実感していただくことができ、さらに次回の里山管理作業への参加意欲を高めることができました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥125,656	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、主に大阪府南河内郡において、手入れ不足で荒廃した里山林約20haを対象に、草刈り管理や雑木林の更新、薪炭林の育成を行っています。年間で延べ約1,000人のスタッフおよびボランティアがそれらの作業を行っていますが、安全に作業するためにはチェーンソーなどの機械の修理点検と技術講習が不可欠です。</p> <p>(使途)そこで、このたびご寄附いただいた125,656円と当会の資金をあわせて、平成23年5月から平成24年4月の間に、チェーンソー約10台の修理点検と、技術講習のためのプロジェクター及びスクリーンを購入しました。</p> <p>(効果)これによって、ボランティアがスキルアップをして、より安全に作業を行うことができるようになりました。また新規購入費用と修理費用との差額を、チェーンソーの刃などの消耗品に充当することができました。ありがとうございました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥52,219	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)森林保全の取り組みには、苗木や機材の購入や人件費がもちろん必要ですが、それらの経理処理をきちんと行なうことで団体の信用度を高めることが、寄附をいただくためには重要です。</p> <p>(使途)そこで、団体基盤整備のための会計ソフトおよびセキュリティソフトを購入しました(48,600円)。</p> <p>(効果)会計ソフトの導入により日常の経理処理の能率が格段にあがり、事務局運営が楽になりました。その分、森林保全のための様々な取り組みに時間を充てることができました。</p> <p>(繰越金)残金の3,619円は、今後、自己資金とあわせて体験講座などで使うノコギリやナタの購入に充当する予定です。今後ともご支援をどうぞよろしくお願いいたします。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,928	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>いただいたご寄附は、前年度繰越金3,619円と今回寄附額17,928円をあわせた全額21,547円を、里山管理作業や人材養成講座に必要な、ノコギリおよびその替え刃、刃物の収納具、刈込用ハサミなどの購入代金(総額約4万円)、に充当しました。</p> <p>平成26年10月～27年3月に開催した「くらしの森創造塾」では、参加者(全6回、延べ約40名)がこれらの道具を用いて荒れた樹林(約0.4ha)の手入れを実施し、美しい花が咲く里山や野鳥のくる森などを整備することができました。</p> <p>今後もこれらの樹林の管理を継続し、より自然ゆたかな里山林としていきますので、ご支援をよろしくお願いいたします。また、ご寄附くださったみなさま、本当にありがとうございました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥113,128	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・個別指定の寄附でいただいた10万円は、大阪府の万博記念公園で当倶楽部の木質バイオマス事業部が開催した「里山の自給エネルギー講座」(H26年11月～H27年2月、全6回)の経費の一部(講師謝金、作業道具の購入等)に充てさせていただきました。この講座では、約60名(延べ参加人数)の方々に森の燃料や木のエネルギーについて、また森林の重要性について学んでいただきました。</p> <p>・その他の13,128円については、大阪府南河内郡河南町の里山管理に必要な消耗品の購入に活用いたしました。河南町の里山は当倶楽部の活動の中心となる重要なフィールドで、雑木林や人工林などの保全管理等の作業を一年を通じて実施しています。これらの作業には、細々とした作業道具やチェーンソー用オイル等の消耗品が不可欠で、エコポイントのご寄附を活用できることで大変助かっています。</p> <p>・今後ともどうぞご支援をお願いいたします。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K084	団体名	公益財団法人地球環境センター
連絡先 (電話／メール)	06-6915-4126	活動ホームページ (URL)	http://gec.jp/jp/
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	ベトナム・ハロン湾 住民参加型マングローブ植林事業		
寄附額合計	¥842,066		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥39,077	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、平成21年10月より、大阪府立大学と共同でJICA草の根技術協力「ハロン湾における住民参加型の資源循環システム構築支援事業」を実施しています。本事業の活動の一環としてマングローブ植林環境啓発イベントを行い、ハロン湾の対象地域の住民による自主的な環境保全活動をを進めることを目的としています。</p> <p>(使途)平成23年8月に現地にてマングローブ植樹イベントを開催しその費用の一部としてこの度寄附頂いた39,077円を活用させていただきました。</p> <p>(効果)マングローブ植林イベントを通じて現地住民の環境意識向上が図れただけでなく日越間の交流も深まり、大変有意義な活動となりました。今回の経験を活かし、来年度さらに効果的な植樹イベント及び環境普及活動を続けていく予定です。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥94,905	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、平成21年10月より、大阪府立大学と共同でJICA草の根技術協力「ハロン湾における住民参加型の資源循環システム構築支援事業」を実施しています。本事業の活動の一環としてマングローブ植林環境啓発イベントを行い、ハロン湾の対象地域の住民による自主的な環境保全活動をを進めることを目的としています。</p> <p>(使途)この度寄附頂いた94,905円を活用して、平成24年8月にベトナム現地でマングローブ植樹イベントを開催し、現地住民および日本とベトナムの学生総勢77名が3,000本の苗木を植樹し、このイベントの費用の一部として使用させていただきました。</p> <p>(効果)マングローブ植林イベントを通じて現地住民の環境意識向上と啓蒙が図れ、意義のある活動となった。今後も継続して植樹イベントをして欲しいという現地要望があったことから、さらに効果的な植樹イベント及び普及活動を続けていく予定です。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥682,519	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、平成21年10月より、大阪府立大学と共同でJICA草の根技術協力「ハロン湾における住民参加型の資源循環システム構築支援事業」を実施しています。本事業の活動の一環としてマングローブ植林環境啓発イベントを行い、ハロン湾の対象地域の住民による自主的な環境保全活動をを進めることを目的としています。</p> <p>(使途)平成25年度は頂いた寄附金のうち226,050円を活用して、平成25年7月にベトナム現地でマングローブ植樹イベントを開催し、現地住民および日本とベトナムの学生総勢40名が1,500本の苗木を植樹し、このイベントの費用の一部として使用させていただきました。なお、残り金額の456,469円につきましては、来年度に現地で実施予定のマングローブ植林イベント費用として使用する予定です。</p> <p>(効果)マングローブ植林イベントは毎年恒例のイベントとなっており、現地住民の環境意識向上と啓蒙が図れ、意義のある活動として現地で高く評価されている。マングローブ植樹によって、健全な湾の生態系を修復するだけでなく、日越間の交流を深めることの出来る活動でもあることから、今後も効果的な植樹イベント及び普及活動を続けていく予定である。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,427	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当センターでは、平成21年10月より、大阪府立大学と共同でハロン湾の住民による自主的な環境保全活動を促進する事業を実施しており、マングローブ植林を環境啓発活動の一環としています。</p> <p>(使途)前年度繰越金456,469円と今回寄附金額18,427円を含めた全額を活用し、7月にマングローブ植樹イベントを開催し、現地住民、日本とベトナムの学生総勢53名が1,500本の苗木を植樹し、本イベント費用の一部として使用させていただきました。</p> <p>(効果)これは毎年恒例のイベントであり、現地住民の環境意識向上と啓蒙が図れ、意義のある活動として現地で高く評価されており、湾の生態系を修復するだけでなく、日越交流を深める活動でもあることから、今後もこの活動を続ける予定です。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,138	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当センターでは、平成21年10月より、大阪府立大学と共同でハロン湾の住民による自主的な環境保全活動を促進する事業を実施しており、マングローブ植林を環境啓発活動の一環としています。</p> <p>(使途)今回寄附金額7,138円的全額を活用し、8月にマングローブ植樹イベントを開催し、現地住民、日本とベトナムの学生総勢43名が1,000本の苗木を植樹し、本イベント費用の一部として使用させていただきました。</p> <p>(効果)これは毎年恒例のイベントであり、現地住民の環境意識向上と啓蒙が図れ、意義のある活動として現地で高く評価されており、湾の生態系を修復するだけでなく、日越交流を深める活動でもあることから、今後もこの活動を続ける予定です。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K085	団体名	特定非営利活動法人緑の地球ネットワーク
連絡先 (電話／メール)	06-6576-6181	活動ホームページ (URL)	http://gen-tree.org/extras/ecopoint.html
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・プロジェクト名	中国黄土高原における森林再生事業		
寄附額合計	¥1,179,936		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥340,681	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>黄土高原のように自然環境の厳しいところでは、植える樹種、場所、植え方、その後の管理などが緑化の成果を大きく左右します。その方向性をさぐるため、大同市南部の豊丘県に南天門自然植物園を建設しました。放牧と柴刈りを排除した結果、めざましい勢いで森林が回復していくようすを観察しています。また、周辺から集めたさまざまな種類の木を育苗・試験栽培しています。この地方の緑化をすすめるにあたり、多様性のある森林を再生するための貴重な指針に育ちつつあります。</p> <p>この度ご寄附いただいた340,681円は、自然植物園の植樹、管理費の一部として活用しました。およそ1.8ha分に相当します。植えたのは、シラカンバ、ホソバユリなど。造林樹種の多様化に寄与します。管理費としては、管理道路の維持、植生調査の継続、植生調査区の管理などにあてました。</p> <p>今後も成長のようすを見守り、森林再生につなげていきます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥349,955	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>近年は中国も緑化に熱心で、毎年世界で植えられる人工造林面積の半分は中国だといわれます。しかしその手法はかつて日本がスギ・ヒノキの一斉造林で失敗したのと同様、持続可能な多様性のある森林づくりにはなっていません。本来の植生を取り戻し、人手をいれなくても持続可能な森林再生にむけたモデルづくりである南天門自然植物園は、そうした意味で有意義なプロジェクトです。</p> <p>この度ご寄附いただいた349,955円は、自然植物園の植樹、管理費の一部として活用しました。およそ1.9ha分に相当します。モンゴリマツ、アブラマツ等を植え広げ、植物園の入口から遠くないところに、園内に生育する植物を集めた見本園をつくりました。管理道路の維持、植生調査の継続、調査区の管理もつづけています。</p> <p>現地スタッフはこのプロジェクトに熱心に取り組み、さまざまな育苗方法を試したり、園内に生育する植物を同定して標本作製したりしています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥327,246	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>日本と中国の国家間の関係が悪化を続ける中、私たちの活動も日々困難が増してきています。人と人との信頼関係の上に成り立ち、両国の政府や林業関係の視察者が口をそろえて「日中でよくこんな関係が築けたね」と感心する民間協力を、簡単に絶やすわけにはいきません。また、環境に国境はなく、中国の環境改善はすなわち日本の、アジアの環境改善に直結しているという面でも有意義な活動と自負しています。引き続きのご協力に感謝いたします。</p> <p>今回ご協力いただいた327,246円は自然植物園約1.8ha分の植樹・整備費用にあてさせていただきました。コノテガシワ、アブラマツ等を植え広げ、日向斜面の乾燥に耐える種々の多年草や灌木の種子を購入、播種育苗しました。植生調査と標本作成も継続しておこなっています。</p> <p>2013年3月末に中国林業科学研究院の陳幸良副院長と、北京林業大学の2人の教授がこの植物園を訪れ、華北でこれほど緑化が成功している例はほかにないと高く評価し、後日「国家級公益林保護区」となりました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥117,927	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>黄砂やPM2.5の飛来元というイメージが強い中国ですが、緑化については世界でも群を抜いて熱心に取り組んでいます。緑の地球ネットワークが23年間緑化協力を続けている山西省大同市の黄土高原でも、新しい造林地を見つけるのがむずかしくなるぐらい、緑化がすすみ、また、地元で熱心に緑化しています。ただ、緑化や森林経営の経験がないため、せっかく植えた木が枯れてしまうなどのケースも散見されます。緑の地球ネットワークでは、早くからマツの育苗に菌根菌を利用し、大同の厳しい気候や土壌の条件にも耐えるマツを造林につかかってきました。初期に植えたマツは5～6mにまで育っています。</p> <p>今年度の寄附金117,927円は、マツの植林費用2ha弱、3931本分に充当しました。</p> <p>実施地は大同市天鎮県張西河郷安家?村です。天鎮県は水土流失が厳しく貧しい地域ですが、緑化によって環境の改善が望まれます。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥44,127	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>今年度のご寄附は天鎮県張西河郷安家?村でのアブラマツの造林につかわせていただきました。面積は0.75ha、本数は1485本になります。</p> <p>中国は現在熱心に緑化に取り組んでいて、緑の地球ネットワーク(GEN)が24年間緑化協力を続けてきた大同でも、いたるところに政府による大規模な造林がみられるようになりました。特筆すべきは、GENが15～20年ほど前に植えて成功した場所の近くに、1,000ha規模の国家プロジェクトがつくられているケースが1件や2件ではないことです。GENのプロジェクト自体は10ha～20haほどの小さなものですが、より大きな緑化プロジェクトをひきよせる呼び水の働きをしています。自分たちが植えるだけでなく、より広範囲な地域の環境改善のきっかけになっていることは、植えた面積以上の効果があると考えられ、とても嬉しいことです。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K086	団体名	特定非営利活動法人和歌山自然リサイクル協会
連絡先 (電話／メール)	0737-32-4877	活動ホームページ (URL)	http://www.konomise.com/chuki/npo-wnra/
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	間伐材利用メッセージベンチ製作・設置および情報発信施設整備事業		
寄附額合計	¥220,086		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥35,340	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 森林の保全・活用の啓発活動を行う為の拠点として、アピール棟(14.5m²)、便所棟(7.7m²)を有田川町岩野河に建設いたしました。</p> <p>(使途) このたび35,340円の寄附を頂き、雨水を活用するための貯水槽の設置、身体障害者用のトイレの設置と、進入用のスロープの設置が早期に出来ました。また、工事には延べ100名の人の参加があり、間伐材の活用方法など、直に感じていただいたと思います。</p> <p>(効果) 今後、この場所で、森林等の保全活動のセミナーを開いたり、その活動時の打ち合わせ場所、休憩場所として利用できるものと思います。この場所は自然に恵まれておりますので、キャンプ場、憩いの場所として活用され、自然の良さを再認識していただく場所となれば、と考えております。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥105,155	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 岩野河に 自然保護、リサイクル活動のアピール施設があります。そこで、里山の斜面を利用して、遊歩道、バルコニーの設置をしました。</p> <p>(使途) 延べ50人のボランティアの参加を頂き、自然の中に溶け込んだ、憩いの場が完成できました。また、自然保全の啓発を訴えた文章を募集し、これを書き込んだテーブル、イスを設置しました。多額の寄付を頂き、お陰で、でこぼこだった場内の一部を舗装することもできました。今回ご寄附の105,155円はこれらに全額使用させていただきました。</p> <p>(効果) 車椅子の利用者にも、移動しやすいと、喜びの声を頂いてます。小屋内には、当協会が取り組んでいる、自然の再生、保護の活動内容や、提案なども展示、掲示されてますので、是非、ご来場頂きたいと思います。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥53,537	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 岩野河の国道沿いに、休憩所や憩いの場として町内外の誰もが無料で利用できるログハウスとトイレ棟を設置しています。その敷地にソイル舗装を施し利用しやすいように整備しました。また水道設備他、施設の修繕も実施しました。また間伐材を利用したベンチを作成し、設置しました。</p> <p>(使途) 延べ80人のボランティアの参加を頂き、憩いの場を整えました。今回ご寄附の53,537円はこれらに全額使用させていただきました。</p> <p>(効果) 施設のバリアフリー化の要望もあったなか、ソイル舗装・水道設備の充実・施設の修繕により、一般の方々、また障害者の方にもより快適にご利用いただけるようになりました。ログハウス内には、当協会が取り組んでいる、自然の再生、保護の活動内容や、提案なども展示、掲示されてますので、是非、ご利用頂きたいと思います。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,927	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 岩野河の国道沿いに、休憩所や憩いの場として町内外の誰もが無料で利用できるログハウスとトイレ棟を設置しています。施設を快適に利用して頂けるよう、引戸修理、清掃活動等を行いました。また、間伐材を有効利用した法面緑化工法などを紹介し、資源の有効利用や自然復元化について学習会を行い、森林・環境保全に向けての啓発活動を行いました。</p> <p>(使途) 延べ15人のボランティアの参加を頂き、憩いの場を整えました。今回ご寄附の18,927円はこれらに全額使用させていただきました。</p> <p>(効果) 引戸修理など施設の修繕・清掃により、快適にご利用いただけるようになりました。ログハウス内には、当協会が取り組んでいる、自然の再生、保護の活動内容や、提案なども展示、掲示されてますので、是非、ご利用頂きたいと思います。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,127	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 岩野河の国道沿いに、休憩所や憩いの場として町内外の誰もが無料で利用できるログハウスとトイレ棟を設置しています。施設を快適に利用して頂けるよう、電気・水道設備を整え、ボランティアにより清掃活動等を行いました。</p> <p>(使途) ログハウスとトイレ棟を快適にご利用して頂けるよう、電気・水道設備を維持しています。今回ご寄附の7,127円はこれらに全額使用させていただきました。</p> <p>(効果) 電気・水道設備の維持により、環境を整えることができました。ログハウス内には、当協会が取り組んでいる、自然の再生、保護の活動内容や、提案なども展示、掲示されてますので、是非、ご利用頂きたいと思います。(http://www.konomise.com/chuki/npo-wnra/)</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K087	団体名	特定非営利活動法人緑と水の連絡会議
連絡先 (電話／メール)	090-6837-3008	活動ホームページ (URL)	http://blog.canpan.info/ohgreen/
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	石見銀山 世界遺産を守る森づくり		
寄附額合計	¥285,763		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥34,077	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)今年度も継続して世界遺産石見銀山の竹林整備活動をおこないました。2011年9月には仙の山石銀地区のテングス病被害竹林の伐採を行いました。大森小学校の前の竹林を伐採し、小学生たちと竹ドームづくりのワークショップを行いました。その他、春にはタケノコ採りイベントを3回、秋には竹林対策のゼミや、竹林ピックというようなイベントを行いました。</p> <p>(使途)竹林整備やそのノウハウを研究するための、他地域からのボランティア参加者への旅費支援、および作業用の資材(鋸の替刃、ゴーグル、手袋)の購入の一部に、また伐採竹のチップ化作業の委託等に住宅エコポイントのご寄附を利用させていただきました。</p> <p>(効果)旅費の一部を支援することで、全国から多くの若者が当地にきてくれて、問題を認識し活動に参加してもらいました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥161,255	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)今年度も継続して世界遺産石見銀山の竹林整備活動をおこないました。2012年4月と6月にはタケノコ採りの市民イベントを実施、6月からは伐採した竹を活用した竹の杖の制作やデザインコンテストを実施した。9月の国際ワークキャンプに合わせて、竹林整備ワークショップを開催しました。</p> <p>(使途)他地区からの参加者を現地に案内する際のレンタカー代、伐採した竹を粉碎処分するチップパーのリース料の一部に充当しました。</p> <p>(効果)9月のワークショップでは4日間でのべ6名が参加し大森地区の大満寺跡、大安寺跡および下河原吹屋跡に繁茂する竹を伐採し、遺跡の景観を向上させることができました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥59,377	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、世界遺産石見銀山地域の山林で、竹林の拡大により遺跡の景観がおおわれてしまっている現状に対して、国内外のボランティアを集め、竹の伐採と処分を行い、遺跡の景観を守る活動を展開しています。</p> <p>(使途)国内外から世界遺産の環境保全に集まるボランティアの合宿用に安価な公民館施設を提供しています(1泊1,000円)。この利用実費の一部としてご寄附を活用させていただきました。(2013年9月、6日間、10名参加、宿泊料・会議室利用料。約8万円)</p> <p>(効果)今年度は銀山川遊歩道沿いの竹の伐採で昔ながらの町並みが眺められるようにする作業を集中して行いました。下河原吹屋跡周辺の竹500本の、伐採と破碎処理ができました。ボランティアの活躍により地元市民や行政も竹林景観保全に対する注目度が高まり、地域を挙げて世界遺産を守ろうという機運がいつそう高まりました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥21,427	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)緑と水の連絡会議では毎年2回、2週間にわたる国際ワークキャンプ石見銀山を開催し、世界の青年たちと共に世界遺産を囲む森林の保全活動を行っています。</p> <p>(使途)復興支援・住宅エコポイントからの寄附金の全額は、竹林景観整備活動における、竹の破碎用のチップパーのリース料の一部にあてさせていただきました。</p> <p>(効果)チップパーの使用により、伐採後の景観がすっきり見通しがよくなり、地域住民や観光客から喜ばれています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥9,627	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>平成27年8月の国際ワークキャンプでは6名のメンバーで2日間にわたり竹の伐採と焼却処理の作業を行いました。世界遺産石見銀山の温泉津沖泊サイトにおいて、西念寺から続く沖泊街道脇の竹林景観の整備を約40アール進めることができました。この区間は今後の世界遺産ツーリズムの舞台として注目を集めている場所です。</p> <p>寄附金はボランティアの移動用車両のリース代と活動資材(鋸の替刃、消火用バケツ)の購入にあてさせていただきました。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K088	団体名	特定非営利活動法人森林をつくろう
連絡先 (電話／メール)	0952-65-4176	活動ホームページ (URL)	http://www.mori-tukurou.com
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	未来をつくる子供たちとの環境教育フィールド形成事業		
寄附額合計	¥253,493		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥41,910	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、佐賀県唐津市浜玉町にある森林5haの森林において、子供向けの環境教育事業の一環として植林や下草刈り、森林内にある放置されたみかん畑の管理を4年前から実施しています。子供たちに森林保全の重要性を伝えることが大きな目的です。</p> <p>(使途)今回の貴重な寄附41,910円は、苗木代の購入や作業の資材の購入に充てさせていただきました。</p> <p>(効果)参加児童の植栽の補助等を十分に行える資材を購入できたことで、効率的に事業を実施することができた。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥130,755	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、佐賀県唐津市にある森林において、子供たちを対象にした環境教育事業を実施しており、その活動内容は、植林や下草刈り、みかん狩りのためのみかん畑の整備です。子供たちが森林内で様々な体験をする中で、森林保全をはじめとした環境保全について考えるきっかけを提供したいと思っています。</p> <p>(使途)皆様からいただいた貴重な130,755円の寄附金は、苗木等の資材購入の他、小学校において実施している環境教育事業の資材購入費(森林の大切さを伝える紙芝居やクイズをするための資材)に使用しました。</p> <p>(効果)事業を小規模ながら継続できたことで、小学校においては保護者についても理解をしていただける事業となり、その他の取り組み(例えば間伐体験等)にも着手できるようになった他、新たに一つの幼稚園で事業を実施することになり、今後も、本事業を継続していける環境を形成できていると思う。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥54,676	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当法人では、約5年前から森林所有者より依頼を受け、佐賀県唐津市の森林で、子どもたちの環境教育事業の一環として植林や果樹収穫体験を実施しています。5haの森林のうちこれまでおおよそ半分の2haを毎年小学5年生を対象に植樹してまいりました。年数を追う毎に成長する植栽木を見て、子どもたちが感激してくれていることが何よりの財産です。</p> <p>皆様よりいただいた54,676円は、子どもたちの環境教育事業を充実させるための植栽用具(スコップなど)や環境教育授業を実施するための資材(パネルなど)の購入に使用いたしました。</p> <p>活動については、法人HPにて情報公開をしておりますので、是非ご覧ください。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,025	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当法人では数年前より、佐賀県唐津市において、所有者により手入れの行き届かない森林管理の依頼を受け、福岡市立南当仁小学校と協働で、植林事業を行っております。小学5年生を対象に、日頃触れる機会の少ない森林に足を運んでもらい、自らの手で苗木を植え、林業作業現場の見学をする活動を行っています。この活動を通じて、都会の子どもたちが、森林環境保全の重要性と、林業の魅力について知るきっかけにしたいと考えています。本事業では、これまでに延べ3,000本の苗木を約1haの森林に植栽して参りました。</p> <p>もともと、限られた予算の中で、事業を実施するためには、必要な資材の購入も不可能な場合がございます。今回は、皆様からご寄附いただいた18,025円は、子どもたちが植栽する苗木購入費や、植栽した苗木の成長を促進するための費用に使用させていただきました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥8,127	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当法人では数年前より、佐賀県唐津市で、所有者の手入れが行き届いていない森林の管理依頼を受け、福岡市立南当仁小学校と協働で植林事業を行っております。小学5年生を対象に、日頃触れる機会の少ない森林に足を運んでもらい、自らの手で苗木を植え、果樹収穫体験を行ったり、林業作業現場の見学をしたりする活動内容となっています。この活動を通して、都会に暮らす子供たちに、森林環境保全の重要性と、林業の魅力について知ってもらう機会にしています。本事業では、これまでに延べ4,000本の苗木を約1.2haの森林に植栽してまいりました。</p> <p>限られた予算の中で、子供たちにいかに有意義な活動を提供できるか、日々検討するばかりですが、皆様より貴重な寄附をいただき、子供たちが森林内で行う体験学習の際に使用する資材購入費(小さなスコップ、バケツなど)に充てさせていただきました。</p> <p>活動の様子は、HPで公開しておりますので、ぜひご覧ください。(http://www.mori-tukurou.com/)</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K089	団体名	特定非営利活動法人環境技術協会
連絡先 (電話／メール)	096-245-6235	活動ホームページ (URL)	http://www.eta.gr.jp/
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	「同友の森づくり」へのカーボンオフセットのシステム構築と運用		
寄附額合計	¥203,928		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥32,096	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、2005年よりエコアクション21地域事務局の認定を受け、環境経営システムの普及促進に取り組んでいます。また、カーボンオフセットへの取組みの一環として、森林整備への寄附活動の促進も図って来ました。近年、東日本大震災の影響により、節電が喫緊の国家的課題となっていることから、企業と従業員の家庭での節電行動を推進し、集計した結果から寄附金額を算定、記念植樹を実施しました。</p> <p>(使途)説明会の実施1回、企業へ訪問しての説明12社、節電行動の評価委員会開催1回、報告会・表彰式1回、植樹1回を実施し、その会議費、謝金等に使用しました。</p> <p>(効果)中小企業家同友会会員企業及びその家庭で節電行動を実施し、その成果を簡易な方法で集計把握、報告会及び表彰式を開催した後、証しとして植樹を行いました。これらの事から、節電意識の向上と結果の見える化が図れ、節電意識の向上につながりました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥95,704	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、2005年よりエコアクション21地域事務局の認定を受け、環境経営システムの普及促進に取り組んでいます。また、カーボンオフセットへの取組みの一環として、森林整備への寄附活動の促進も図って来ました。近年、東日本大震災の影響により、節電が喫緊の国家的課題となっていることから、企業と従業員の家庭での節電行動を推進し、節電のポイントや燃費を管理における削減方法の説明会を実施しました。</p> <p>(使途)説明会を平成23年6月～平成24年3月に3回を実施し、その事前打ち合わせ会議を開始しております。会議室使用料、謝金等に全額使用しました。</p> <p>(効果)エコアクション21への取組を検討している事業者及び熊本県産業廃棄物協会会員向けに、節電や燃費管理に関する具体的な方法に関する説明会を実施し、節電・燃料削減の効果・結果の見える化を図り、節電や燃料削減の意識の向上につながりました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥51,076	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、2005年よりエコアクション21地域事務局の認定を受け、環境経営システムの普及促進に取り組んでいます。また、カーボンオフセットへの取組みの一環として、森林整備への寄附活動の促進も図って来ました。近年、東日本大震災の影響により、節電が喫緊の国家的課題となっていることから、企業と従業員の家庭での節電行動を推進し、節電のポイントや燃費管理による削減方法の説明会を実施しました。</p> <p>(使途)説明会を平成24年6月～平成25年3月に3回を実施し、その事前打ち合わせ会議を開催しております。会議室使用料、謝金等の一部に全額使用しました。</p> <p>(効果)エコアクション21への取組を検討している事業者及び中小企業家同友会等の会員向けに、節電や燃費管理に関する具体的な方法に関する説明会を実施し、節電・燃料削減の効果・結果の見える化を図り、節電や燃料削減の意識の向上につながりました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,425	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、2005年よりEA21地域事務局の認定を受け、環境経営システムの普及促進に取り組んでいます。また、カーボンオフセットへの取組みの一環として、森林整備への寄附活動の促進も図って来ました。近年、東日本大震災の影響により、節電が喫緊の国家的課題となっていることから、企業と従業員の家庭での節電行動を推進し、節電のポイントや燃費管理による削減方法のセミナーを実施しました。</p> <p>(使途)平成25年9月に節電や燃費管理に関する具体的な方法に関するセミナーを1回実施しました。会議室使用料、謝金等の一部に全額使用しました。</p> <p>(効果)EA21審査人や環境カウンセラー及び中小企業家同友会等の会員向けに、節電や燃費管理に関する具体的な方法を紹介するセミナーを実施し、節電・燃料削減の効果・結果の見える化、節電や燃料削減の意識の向上につなげるとともに、普及啓発する人材育成に役立てた。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,627	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、2005年よりエコアクション21地域事務局の認定を受け、環境経営システムの普及促進に取り組んでいます。また、カーボンオフセットへの取組みの一環として、森林整備への寄附活動の促進も図って来ました。近年、東日本大震災の影響により、節電が喫緊の国家的課題となっていることから、企業と従業員の家庭での節電行動を推進し、節電のポイントや燃費管理による削減方法の説明会を実施しました。</p> <p>(使途)説明会を平成26年5月～平成27年7月に6回を実施し、その事前打ち合わせ会議を開催しております。会議室使用料、謝金等の一部に全額使用しました。</p> <p>(効果)エコアクション21への取組を検討している事業者及び中小企業家同友会等の会員向けに、節電や燃費管理に関する具体的な方法に関する説明会を実施し、節電・燃料削減の効果・結果の見える化を図り、節電や燃料削減の意識の向上につながりました。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K090	団体名	財団法人かごしまみどりの基金
連絡先 (電話／メール)	099-225-1426	活動ホームページ (URL)	http://www.k-green.jp
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	森林ボランティア団体育成事業		
寄附額合計	¥241,008		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥38,727	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当基金では、森林ボランティア団体の育成を図るため「鹿児島県森林ボランティア連絡会」を設立し、以来、若干ながらも助成を行ってきました。当初は加入団体が鹿児島市区のみの6団体でしたが、今では県内一円25団体に増加し、活動内容も以前に増して充実してきています。</p> <p>(使途)団体数の増加やその充実した活動内容を支えていくためには、それだけの資金が必要です。これまで各自が自己負担としてきた交通費等の経費を少しでも助成したいと、今回ご寄附いただいた住宅エコポイント分と当基金の資金を合わせ、活動報告のあった全団体に助成を行うことができました。</p> <p>(効果)こうした助成があると、活動がより意欲的になり益々充実してきます。また、活動に参加してみたいという興味を持っている方々にも参加を呼びかけやすくなりました。今後も「県民総参加の森林づくり活動」の実現に向けて、この活動の充実を図っていききたいと思います。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥119,854	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当基金では、森林ボランティア団体の育成を図るため「鹿児島県森林ボランティア連絡会」を設立し、以来、若干ながらも助成を行ってきました。当初は加入団体が鹿児島市区のみの6団体でしたが、今では県内一円27団体に増加し、活動内容も以前に増して充実してきています。</p> <p>(使途)団体数の増加やその充実した活動内容を支えていくためには、それだけの資金が必要です。これまで各自が自己負担としてきた交通費等の経費を少しでも助成したいと、今回ご寄附いただいた住宅エコポイント分と当基金の資金を合わせ、活動報告のあった全団体に助成を行うことができました。</p> <p>(効果)こうした助成があると活動がより意欲的になり益々充実してきます。また、活動に参加してみたいという興味を持っている方々にも参加を呼びかけやすくなりました。今後も「県民総参加の森林づくり活動」の実現に向けて、この活動の充実を図っていききたいと思います。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥55,576	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当基金では、森林ボランティア団体の育成を図るため「鹿児島県森林ボランティア連絡会」を設立し、以来、若干ながらも助成を行ってきました。当初は加入団体が鹿児島市区のみの6団体でしたが、今では県内一円27団体に増加し、活動内容も以前に増して充実してきています。</p> <p>(使途)団体数の増加やその充実した活動内容を支えていくためには、それだけの資金が必要です。これまで各自が自己負担としてきた交通費等の経費を少しでも助成したいと、今回ご寄附いただいた住宅エコポイント分と当基金の資金を合わせ、活動報告のあった全団体に助成を行うことができました。</p> <p>(効果)こうした助成があると、活動がより意欲的になり益々充実してきます。また、活動に参加してみたいという興味を持っている方々にも、参加を呼びかけやすくなりました。今後も「県民総参加の森林づくり活動」の実現に向けて、この活動の充実を図っていききたいと思います。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,424	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当基金では、森林ボランティア団体の育成を図るため「鹿児島県森林ボランティア連絡会」を設立し、以来、若干ながらも助成を行っています。当初は加入団体が鹿児島市区のみの6団体でしたが、今では県内一円29団体に増加し、活動内容も以前に増して充実してきています。</p> <p>(使途)団体数の増加やその充実した活動内容を支えていくためには、それだけの資金が必要です。これまで各自が自己負担としてきた交通費等の経費を少しでも助成したいと、今回ご寄附いただいた住宅エコポイント分と当基金の資金を合わせ、活動報告のあった団体に助成を行いました。</p> <p>(効果)こうした助成があると、活動がより意欲的になり益々充実してきます。また、活動に参加してみたいという興味を持っている方々にも参加を呼びかけやすくなります。今後も「県民総参加の森林づくり活動」の実現に向けて、この活動の充実を図っていききたいと思います。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥8,427	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当基金では、森林ボランティア団体の育成を図るため「鹿児島県森林ボランティア連絡会」を設立し、以来、若干ながらも助成を行っています。</p> <p>(使途)団体数の増加やその充実した活動内容を支えていくためには、それだけの資金が必要です。これまで各自が自己負担としてきた交通費等の経費を少しでも助成したいと、今回ご寄附いただいた住宅エコポイント分と当基金の資金を合わせ、活動報告のあった団体に助成を行いました。</p> <p>(効果)こうした助成があると、活動がより意欲的になり益々充実してきます。また、活動に参加してみたいという興味を持っている方々にも参加を呼びかけやすくなります。今後も「県民総参加の森林づくり活動」の実現に向けて、この活動の充実を図っていききたいと思います。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K206	団体名	特定非営利活動法人白神山地を守る会
連絡先 (電話／メール)	017-743-8314	活動ホームページ (URL)	http://preserve.shirakami.gr.jp/
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	ブナの森の再生で、森林吸収源の森を復元		
寄附額合計	¥1,111,726		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥151,616	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>白神山地の国有林の中の津軽沢林道の赤石林班で、ブナの伐採された箇所3haに、ブナを中心とした落葉広葉樹を25000本を約2000名で、植林した。その形態は、植樹祭を年2回実施し、一般市民や小学生を対象とした形で実施したものと、守る会の会員が5月～10月の間に細かく、週末を利用してボランティアで参加して植林や下草刈りで実施したもの、また、企業はオリンパス、モリタカバン、青果市場の従業員が100名単位で秋の実施してくて3000本ほど植林してくれました。この様に、一般市民・企業の参加の和が広がってきた事が大きな成果となっています。</p> <p>この事業を展開するのに深い奥山ですので、植林の道具を購入し、下草刈りや地ごしらえ用の道具がとても効果があり、事業推進の大きな必需品として、活用されました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥247,813	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>白神山地周辺での植林活動は、今まで28000本ほどの広葉樹の苗木を植えてきました。この間、多くの市民の皆様がボランティアで活動に参加してくれました。特に、これらの作業を展開する為にはある程度の資格を持った人たちによる地ごしらえ作業が必要となります。過去にブナの森だったところが、杉が植えられており、成長しない杉を除間伐して、その間に広葉樹を植えて、混合林を作っていく作業は、過酷な労働とそれなりの作業の道具が必要です。</p> <p>今回のエコポイントの寄附金は、それらの道具(チェーンソーや下草刈り機、地ごしらえ用具の大型下草刈り機)の購入と、山から作業用の木材を搬出してくる経費などに全額使用しました。</p> <p>ここまで拡大して継続してこられたのは、この寄附金があったからだと感謝しております。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥443,937	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>白神山地の国有林の中の奥津軽林道の赤石林班で、ブナの伐採された箇所11haに、ブナを中心とした落葉広葉樹を11000本植林した。この植林活動には、一般市民や小学生が実施したもので、守る会の会員が5月～10月の間にボランティアで参加をして植林や下草刈りを実施してきた。企業ではキャノンやオリンパス、モリタカバン、経団連の方々も植林活動に参加してくれた。また、毎年苗木づくりに挑戦する為に、マルチトレーを使ったコンテナ苗づくりにも挑戦しています。</p> <p>特に2014年はたくさん種が取れましたので、植林の道具を購入し、下草刈りや地ごしらえ用の道具がとても必要になります。エコポイントの寄附金は事業拡大にとっても助かっています。ありがとうございました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥221,118	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>白神山地を守る会は、世界自然遺産のブナの森の復元・再生を目的に、世界遺産登録以前に伐採されたブナ林の復元を目指しています。</p> <p>今回の寄附金は、種の保存用のストッカー100,508円、トガ3,150円×25本=78,750円、スコップ1,050円×10本=10,500円、単管鉄パイプ5m2,200円×12本=26,400円、金具248円×20本=4,960円、合計221,118円に使い、563名の方々が植林に参加し、2600本の広葉樹を植林し、確実に復元・再生につながっています。</p> <p>白神山地の奥山での、このような植林活動は毎年、6月の下旬～7月初めにかけて植樹祭と言う形で実施しております。これからも継続してこの事業を実施してまいります。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥47,242	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>平成26年6月に白神山地ブナ植樹フェスタin赤石川という植樹祭を開催しました。この時は雨が降り参加者が120名程度となりましたが、500本程の広葉樹を植林しました。</p> <p>この時に下草刈り機を一台と、スコップ5本、トガを10本購入しました。その費用として寄附金を使いました。</p> <p>毎年この植樹地は、1haずつ地拵え作業も行っており、その後、企業の植樹祭を実行したり、地元高校の植樹祭も合わせると、この年は2000本の植樹をする事ができました。また、今年は白神山地のすべての道路が崩落事故により通行ができず、白神山地での植林活動は中止となりましたが、1haの地拵えはすることができました。今回頂いた寄附を有効に使い、今後も引き続き白神山地のブナの森の復元・再生の活動を続けて参ります。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K208	団体名	特定非営利活動法人JUON NETWORK(樹恩ネットワーク)
連絡先 (電話／メール)	03-5307-1102	活動ホームページ (URL)	http://blog.goo.ne.jp/juon-office
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	森林ボランティア活動の裾野を広げる青年リーダー養成講座の展開拡充		
寄附額合計	¥205,711		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥31,955	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 森づくり活動の安全な運営ができる、次世代を担う「森林ボランティア青年リーダー」を養成する講座を、当法人では13年前から東京都奥多摩町、5年前から兵庫県宍粟市と京都府亀岡市の森林で実施してきました。現代の若者にとって、刃物とロープで色々な作業をこなし道具も作る経験や、山村で暮らす方との交流は、ライフスタイルを見直すきっかけにもなっています。</p> <p>(使途) 関西の講座参加者数が昨年度より増えているため、この度ご寄附頂いた31,955円は、当会の資金と合わせ、実習に使う唐鍬、掛け矢等の道づくり道具や、安全帯、ヘルメット等の安全用具の2011年秋の追加購入に使わせて頂きました。</p> <p>(効果) 十分な数の道具を用意することで、実習内容の充実を図ることができました。また、修了後の実践活動にも役立っています。彼らが活躍するイベント「森林の楽校」に、ご寄附を頂いた皆様にもご参加頂ければ幸いです。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥97,650	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 森づくり活動の安全な運営ができる、次世代を担う「森林ボランティア青年リーダー」を養成する講座を、当法人では14年前から東京都奥多摩町、6年前から兵庫県宍粟市と京都府亀岡市の森林で実施してきました。現代の若者にとって、刃物とロープで色々な作業をこなし道具も作る経験や、山村で暮らす方との交流は、ライフスタイルを見直すきっかけにもなっています。</p> <p>(使途) この度ご寄附頂いた97,650円は、本講座の運営経費(会場借料、講師謝金、道具保管小屋整備費等)の一部として全額を使わせて頂きました。なお保管小屋は、これまで揃えてきた道具を保管するために、講座の修了生が、自分達で伐採した間伐材を活用しセルフビルドで建設中です。</p> <p>(効果) 講座修了生が、その後の経験を積み場として、また講座で学んだことの発展として、間伐材活用に取り組んでいるのは、大きな進歩です。彼らが活躍するイベント「森林の楽校」に、ご寄附を頂いた皆様にもご参加頂ければ幸いです。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥51,070	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 森づくり活動の次世代を担う人材の養成講座を、東京で15年関西で7年実施してきました。現代の若者にとり、刃物とロープで色々な作業をこなし道具も作る経験や、山村で暮らす方との交流は、ライフスタイルを見直すきっかけにもなっています。</p> <p>(使途) ご寄附51,070円は、本講座の運営経費(会場借料、講師謝金、道具保管小屋整備費等)の一部として全額を使わせて頂きました。保管小屋は、これまで揃えてきた道具を保管するために、講座の修了生が、自分達で間伐材を伐採しセルフビルドで建設しました。</p> <p>(効果) 参加費を抑えられた事で、東京と関西を合わせ受講生28名を集める事が出来ました。また修了後の経験を積み場に、間伐材活用を取り込めたのは、講座での学びの発展として意義深い経験をさせて頂いています。彼らが一部スタッフとして活躍するイベント「森林の楽校」や「多摩の森・大自然塾」には、例年のべ約千人にご参加頂いています。ご寄附を頂いた皆様にも、養成された人材の視察を兼ねご参加頂ければ幸いです。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,415	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 森づくり活動の次世代を担う人材の養成講座を、東京で16年関西で8年実施してきました。現代の若者にとり、刃物とロープで色々な作業をこなし道具も作る経験や、山村で暮らす方との交流は、ライフスタイルを見直すきっかけにもなっています。</p> <p>(使途) ご寄附17,415円は、講座の運営経費(広報費、会場借料、講師謝金等)の一部として全額を使わせて頂き、これにより、幅広い広報をしつつ参加しやすい受講料を設定することができました。</p> <p>(効果) 受講料を抑えられた事で、東京と関西を合わせ受講生34名を集める事が出来ました。個性豊かな参加者は、各自の興味・関心を活かし、修了後の活動を主体的に進めています。彼らが一部スタッフとして活躍するイベント「森林の楽校」や「多摩の森・大自然塾」には、例年のべ約千人にご参加頂いております。ご寄附を頂いた皆様にも、養成された人材の視察を兼ねご参加頂ければ幸いです。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥7,621		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 森づくり活動の次世代を担う人材の養成講座を、東京で16年関西で8年実施してきました。現代の若者にとり、刃物とロープで色々な作業をこなし道具も作る経験や、山村で暮らす方との交流は、ライフスタイルを見直すきっかけにもなっています。</p> <p>(使途) ご寄附7,621円は、講座の運営経費(広報費、会場借料、講師謝金等)の一部として全額を使わせて頂き、これにより、幅広い広報をしつつ参加しやすい受講料を設定することができました。</p> <p>(効果) 受講料を抑えられた事で、東京と関西を合わせ受講生23名を集める事が出来ました。個性豊かな参加者は、各自の興味・関心を活かし、修了後の活動を主体的に進めています。彼らが一部スタッフとして活躍するイベント「森林の楽校」や「多摩の森・大自然塾」には、例年のべ約千人にご参加頂いております。ご寄附を頂いた皆様にも、養成された人材の視察を兼ねご参加頂ければ幸いです。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K209	団体名	特定非営利法人草炭緑化協会
連絡先 (電話／メール)	03-3654-7889	活動ホームページ (URL)	http://homepage2.nifty.com/soutan-jp
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	中国荒漠地緑化事業		
寄附額合計	¥255,111		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥31,955	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は地球温暖化と日本への黄砂の飛来減少に向けて、中国の甘肅省武威市古浪県馬路灘林場地区のトングリ沙漠南縁の沙漠で現在日中緑化交流基金およびイオン環境財団の助成金によりここ数年継続して植樹をしています。降水量は通常の400mmより少ない約200mmと降水量の少ない沙漠であるが、このような環境に強い灌木花棒、沙拐棗を用いて植樹を行い、高い活着率をえています。植樹の実作業は中国の方をお願いして実施しています。</p> <p>(使途)このたびご寄附をいただいた金額は、31,955円ですが、家電のエコ基金742,668円の寄附金と合わせて計774,623円で平成22年度の植樹事業に使用いたしました。</p> <p>(効果)植樹面積7ha増やすことが出来、また作業に従事した中国農民の収入を増やすことが出来ました。本地区は中国においても同趣旨で沙漠緑化と中国の農民の収入増加に努力している地区で日本からの支援は有効であり、草の根外交にも役立っています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥95,550	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は地球温暖化と日本への黄砂の飛来減少に向けて、中国の甘肅省武威市古浪県馬路灘林場地区のトングリ沙漠南縁の沙漠で現在日中緑化交流基金およびイオン環境財団の助成金によりここ数年継続して植樹をしています。降水量は通常の400mmより少ない約200mmと降水量の少ない沙漠であるが、このような環境に強い灌木花棒、沙拐棗を用いて植樹を行い、高い活着率をえています。植樹の実作業は中国の方をお願いして実施しています。</p> <p>(使途)このたびご寄附をいただいた、95,550円で5,000本の苗を購入し、1haを植樹する中国の沙漠植樹事業に使用いたしました。</p> <p>(効果)5000本は植樹面積約1haで、植樹作業に従事した中国農民の収入を増やすことが出来ました。本地区は中国においても同趣旨で沙漠緑化と中国の農民の収入増加に努力している地区で日本からの支援は有効であり、草の根外交にも役立っています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥53,070	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)平成24年度に引き続き、平成25年度も日中緑化交流基金およびイオン環境財団の助成金により中国甘肅省武威市古浪県馬路灘地区において地元林業局と協力して荒漠地(砂漠)の植樹事業を行いました。植樹面積は日中緑化交流基金が馬路灘紅砂塘地区で80haイオン環境財団が馬路灘地区で29haでした。</p> <p>(使途)寄附金額が5万円を少し上回りましたが、すべてこの事業に必要な苗の購入に充てました。</p> <p>(効果)苗の活着率は平成25年は降水量が例年より少なく厳しい環境でしたので、例年の活着率約70%を若干下回り60%程度を確保することができました。まだ広大な荒漠地が残っており今後も努力が必要で平成26年度も引き続きこの事業を継続いたします。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥67,415	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は地球温暖化防止と日本への黄砂の飛来減少に向けて、中国の甘肅省武威市古浪県馬路灘輪状地区のトングリ沙漠南縁の沙漠で現在日中緑化交流基金およびイオン環境財団の助成金により2005年より10年にわたり継続して植樹をしています。降水量が通常の400mmより少ない約200mmの沙漠ですが、このような環境に強い灌木(花棒、沙拐棗)の植樹を行い、高い活着率を得ています。植樹の実作業は中国の方々をお願いしています。</p> <p>(使途)このたびご寄附いただいた67,415円は5万円を超えましたが凡て苗の購入に充て苗18,000本を購入し、沙漠植樹事業に使用いたしました。</p> <p>(効果)18,000本は植樹面積3.6haで、植樹事業に従事した中国農民の収入の増加にも貢献しました。本地区は中国においても同趣旨で沙漠の緑化と農民の収入増加に努力している地区で日本からの支援は有効であり、草の根外交にも役立っています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,121	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は地球温暖化防止と日本への黄砂の飛来減少に向けて、中国甘肅省武威市古浪県馬路灘地区のトングリ沙漠南縁の沙漠で現在日中緑化交流基金およびイオン環境財団の助成金により2005年より11年にわたり継続して植樹をしています。降水量が200mm程度と通常植樹が行われる400mmに比べ少ない沙漠ですが、このような環境でも育つ灌木花棒、沙拐棗等で植樹を行い高い活着率を得ています。植樹の実作業は中国の方々をお願いしています。</p> <p>(使途)このたびの寄附は7,121円で苗を1250本購入し沙漠植樹事業に使用しました。</p> <p>(効果)1250本は植樹面積0.5haで、植樹面積の拡大に貢献し、植樹に従事した農民の収入増加に貢献いたしました。本地区は中国においても沙漠の緑化と農民の収入増加に努力している地区で、日本からの支援は有効であり、草の根外交にも役立っています。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K210	団体名	一般社団法人more trees
連絡先 (電話／メール)	03-5770-3969	活動ホームページ (URL)	http://www.more-trees.org
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	フィリピン共和国・キリノ州における熱帯林再生プロジェクト		
寄附額合計	¥261,124		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥39,241	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当方では、世界の森林を保全するための活動の一環として、フィリピン共和国・キリノ州における熱帯林の再生プロジェクトを推進しています。プロジェクト地は生物多様性保全のための重点地域として現地政府に指定され、かつて熱帯林であった地域の再生が必要とされています。果樹を含む地域の郷土樹種を植栽することで生物多様性保全に貢献し地域住民にもメリットのある森の再生を目指します。</p> <p>(使途) この度頂いた39,241円と当方の資金を合わせ、プロジェクトを推進するとともにその進捗状況を管理する体制を構築することができました。</p> <p>(効果) これにより、現在150ha以上の植林が完了しています。今後も植林済みの森を育てていく必要があるため、このプロジェクトを推進し生物多様性保全に貢献し地域住民にもメリットのある森づくりを目指していきます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥107,657	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>本プロジェクトの対象地であるフィリピン共和国キリノ州は、政府から生物多様性の重点エリアに指定されている地域で、フィリピン最長のカガヤン川の水源域でもあります。この地域では、合計約180ヘクタール(東京ドーム40個分)におよぶの植林プロジェクトを展開しています。植えられる苗木は生物多様性に配慮し、もともとこの地域に生息する郷土樹種と、柑橘系やランブータンなどの果樹の木を選択しています。果樹の木から収穫された果実は、販売することで現金収入の機会創出にもつながり、地域の貧困削減にもつながる取り組みです。</p> <p>今回の寄附金107,657円全額を活用し、およそ1,000m²(約300坪)の植え付けと植栽後のメンテナンス費用に役立てさせていただきました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥75,664	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>本プロジェクトの対象地であるフィリピン共和国キリノ州は、政府から生物多様性の重点エリアに指定されている地域で、フィリピン最長のカガヤン川の水源域でもあります。この地域では、合計約180ヘクタール(東京ドーム40個分)におよぶの植林プロジェクトを展開しています。植えられる苗木は生物多様性に配慮し、もともとこの地域に生息する郷土樹種と、柑橘系やランブータンなどの果樹の木を選択しています。果樹の木から収穫された果実は、販売することで現金収入の機会創出にもつながり、地域の貧困削減にもつながる取り組みです。</p> <p>今回の寄附金75,664円全額を活用し、およそ700m²(約200坪)の植え付けと枯死した木の植替え、管理作業(火災防止のための雑草除去他)に役立てさせていただきました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥27,597	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>本プロジェクトの対象地であるフィリピン共和国キリノ州は、政府から生物多様性の重点エリアに指定されている地域で、フィリピン最長のカガヤン川の水源域でもあります。この地域では、合計約180ヘクタール(東京ドーム40個分)におよぶの植林プロジェクトを展開しています。植えられる苗木は生物多様性に配慮し、もともとこの地域に生息する郷土樹種と、柑橘系やランブータンなどの果樹の木を選択しています。果樹の木から収穫された果実は、販売することで現金収入の機会創出にもつながり、地域の貧困削減にもつながる取り組みです。</p> <p>今回の寄附金27,597円全額を活用し、およそ250m²(約75坪)の植え付けと枯死した木の植替え、管理作業(火災防止のための雑草除去他)に役立てさせていただきました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥10,965	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>本プロジェクトの対象地であるフィリピン共和国キリノ州は、政府から生物多様性の重点エリアに指定されている地域で、フィリピン最長の河川、カガヤン川の水源域でもあります。この地域では、合計約180ヘクタール(東京ドーム40個分)におよぶの植林プロジェクトを展開しています。植えられる苗木は生物多様性に配慮し、もともとこの地域に生息する郷土樹種と、柑橘系やランブータンなどの果樹の木を選択しています。果樹の木から収穫された果実は、販売することで現金収入の機会創出にもつながり、地域の貧困削減にもつながる取り組みです。</p> <p>今回の寄附金10,965円全額を活用し、およそ110m²(約33坪)の植え付けと枯死した木の植替え、管理作業(火災防止のための雑草除去他)に役立てさせていただきました。なお、2015年はプロジェクト開始後最初の第三者審査(ペリフィケーション)も実施いたしました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K211	団体名	特定非営利活動法人森づくりフォーラム
連絡先 (電話／メール)	03-3868-9535	活動ホームページ (URL)	http://www.moridukuri.jp
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	「市民参加の森づくりにおける森林施業ガイドライン」の普及事業		
寄附額合計	¥231,961		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥34,205	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は、全国の森づくり団体とネットワークとして、「市民参加の森づくりにおける森林施業ガイドライン」を制作し配布していましたが、当初の作成した部数が終了したので、このたびいただいたご寄附で新たに広葉樹施業の部分を冊子にまとめて作成することにしました。今、緑地保全、雑木林保全活動の森づくり団体が増加し、広葉樹施業の指針のガイドラインが急ぎ必要とされてきています。</p> <p>(使途)ご寄附された金額で「市民参加の森づくり森林施業【広葉樹林】施業ガイドライン」を新たに編集した概要版をリニューアルしたものを、全国の森づくり団体に配布、普及すると同時に、当法人が開催するシンポジウム等で住宅エコポイントのご寄附により、このような事業の成果物できたことを報告させていただきます。</p> <p>(効果)「市民参加の森づくりにおける森林施業ガイドライン」を制作、配布したことにより、全国で活動する森づくり団体の活動を助け、また緑地保全、雑木林保全に関する情報を各森づくり団体へと共有し、知識を深めることにも役立ちました。 ご寄附金額 住宅 34,205円 制作費 32p. 800部 配布先 全国の森づくり団体及び個人</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥94,650	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は、全国の森づくり団体ネットワークとして、「市民参加の森づくりにおける森林施業ガイドライン」を制作し配布していましたが、当初作成した部数が終了したので、ご寄附を活用して新たに広葉樹施業の部分を冊子にまとめて800部(1冊32p)作成することにしました。緑地保全、雑木林保全活動の森づくり団体が増加し、広葉樹施業の為のガイドラインが急ぎ必要とされています。</p> <p>(使途)ご寄附金を全額使用して「森林施業施業ガイドライン」を再編集した広葉樹施業の概要版を作成、全国の森づくり団体に配布しました。また当会が開催するシンポジウム等でエコポイントのご寄附により、この成果物ができたことを報告させていただきました。</p> <p>(効果)上記ガイドラインを制作、配布したことにより、全国の森づくり団体の活動を助け、また緑地保全、雑木林保全に関する情報を各森づくり団体へ共有し、知識を深めることにも役立ちました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥76,570	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は、全国の森づくり団体ネットワークとして、「市民参加の森づくりにおける森林施業ガイドライン」を制作し配布していましたが、当初作成した部数が終了したので、ご寄附を活用して新たに広葉樹施業の部分を冊子にまとめて800部(1冊32p)作成しました。緑地保全、雑木林保全活動の森づくり団体が増加し、広葉樹施業の為のガイドラインが急ぎ必要とされています。</p> <p>(使途)ご寄附金を全額使用して「森林施業ガイドライン」を再編集した広葉樹施業の概要版を作成、全国の森づくり団体に昨年度に引き続き配布。私共の主催するシンポジウムでも配布し、普及に努めました。</p> <p>(効果)上記ガイドラインを制作、配布したことにより、全国の森づくり団体の活動を助け、また緑地保全、雑木林保全に関する情報を各森づくり団体へ共有し、知識を深めることにも役立ちました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥19,414	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は、全国の森づくり団体ネットワークとして、「市民参加の森づくりにおける森林施業ガイドライン」を制作し配布していましたが、当初作成した部数が終了したので、ご寄附を活用して新たに広葉樹施業の部分を冊子にまとめて800部(1冊32p)作成しました。</p> <p>(使途)ご寄附金を全額使用して「森林施業ガイドライン」を再編集した広葉樹施業の概要版を昨年度に引き続き作成し、配布しました。東京大学で開催した「森林と市民を結ぶ全国の集い」をはじめとし、私共の主催するシンポジウムでも配布し、普及に努めました。</p> <p>(効果)上記ガイドラインを制作、配布したことにより、全国の森づくり団体の活動をサポートしました。森林保全や里山の手入れに関心のある層にも配布を行うことで普及啓発の効果もありました。また緑地保全、雑木林保全に関する情報を各森づくり団体へ共有し、知識を深めることにも役立ちました。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥7,122		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)ご寄附を活用して作成した「森林施業ガイドライン」から、広葉樹施業の部分を冊子にまとめて800部(1冊32p)作成し、そのデータを当会HPに公開しており(http://www.moridukuri.jp/project/guideline.htm)、その冊子を引き続き配布しております。緑地保全・雑木林保全活動の森づくり団体が増加し、作業や対象とするフィールドも多様化しており、広葉樹施業の為のガイドラインが必要とされています。</p> <p>(使途)「森林施業ガイドライン」を再編集した広葉樹施業の概要版を、全国の森づくり団体に昨年度に引き続き配布。いただいた寄附金は主に配布時の送料に充てました。また、私共の主催するシンポジウム(5月開催)、問合せのあった団体へも配布し、普及に努めました。</p> <p>(効果)上記ガイドラインを配布したことにより、全国の森づくり団体の活動を助け、また緑地保全、雑木林保全に関する情報を各森づくり団体へ共有し、知識を深めることにも役立ちました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K212	団体名	特定非営利活動法人WITH
連絡先 (電話／メール)	058-382-3688	活動ホームページ (URL)	http://www.with-pj.org
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	マングローブ植樹活動		
寄附額合計	¥218,007		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥33,454	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体では毎年年に1～2回、フィリピンでのボランティアツアーを行っており、その際に現地の住民たちと一緒にマングローブの植樹活動を行っています。平成23年7月6日～10日の5日間及び、平成23年10月1日～5日の5日間に述べ18名のスタッフが、マングローブ植樹ツアーに参加し、フィリピンのレイテ島でマングローブの苗の植樹及び、物資支援活動を行いました。</p> <p>この2回のツアー中では、頂いた寄附金を活用し、合計約1,000本のマングローブの苗を植樹しました。</p> <p>この苗たちは、自然環境の保護に役立ち、成長して大きくなるにつれて、さらに環境保護に役立つマングローブの森となると期待されます。頂いた33,454円の寄附金は、苗代と現地での管理費として活用させていただき、不足分は当法人の資金を使用いたしました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥106,950	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体では毎年年に1～2回、フィリピンでのボランティアツアーを行っており、その際に現地の住民たちと一緒にマングローブの植樹活動を行っています。平成24年7月7日～11日の5日間及び、平成24年10月6日～10日の5日間に述べ20名のスタッフが、マングローブ植樹ツアーに参加し、フィリピンのレイテ島でマングローブの苗の植樹及び、物資支援活動を行いました。</p> <p>この2回のツアー中では、頂いた寄附金を活用し、合計約2,000本のマングローブの苗を植樹しました。</p> <p>この苗たちは、自然環境の保護に役立ち、成長して大きくなるにつれて、さらに環境保護に役立つマングローブの森となると期待されます。頂いた106,950円の寄附金は、全額苗代と現地での管理費として活用させていただき、不足分は当法人の資金を使用いたしました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥51,068	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体では毎年年に2回、フィリピンでのボランティアツアーを行っており、その際に現地の住民たちと一緒にマングローブの植樹活動を行っています。平成25年7月3日～7日の5日間ではカパロンガ島へ、平成25年10月2日～6日の5日間ではレイテ島へ、述べ27名のスタッフとボランティアが、マングローブ植樹ツアーに参加し、マングローブの苗の植樹及び、物資支援活動を行いました。</p> <p>この2回のツアー中では、頂いた寄附金を活用し、合計約3,000本のマングローブの苗を植樹しました。</p> <p>この苗たちは、自然環境の保護に役立ち、成長して大きくなるにつれて、さらに環境保護に役立つマングローブの森となると期待されます。頂いた44,733円の寄附金は、全額苗代と現地での管理費として活用させていただき、不足分は当法人の資金を使用いたしました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥19,413	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体では毎年年に2回、フィリピンでのボランティアツアーを行っており、その際に現地の住民たちと一緒にマングローブの植樹活動を行っています。平成26年7月8日～13日の6日間ではカパロンガ島へ、平成26年10月7日～12日の6日間ではレイテ島へ、述べ23名のスタッフとボランティアが、マングローブ植樹ツアーに参加し、マングローブの苗の植樹及び、物資支援活動を行いました。</p> <p>この2回のツアー中では、頂いた寄附金を活用し、合計約5,000本のマングローブの苗を植樹しました。</p> <p>この苗たちは、自然環境の保護に役立ち、成長して大きくなるにつれて、さらに環境保護に役立つマングローブの森となると期待されます。頂いた19,413円の寄附金は、全額苗代と現地での管理費として活用させていただき、不足分は当法人の資金を使用いたしました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,122	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>WITHでは、毎年年に2回フィリピンでのボランティアツアーを実施しており、その際に現地の住民たちと一緒にマングローブの植樹活動を行っています。平成26年10月7日～12日、平成27年7月18日～23日の各々6日間、フィリピンのレイテ島にてマングローブ植樹活動と物資支援活動を行いました。</p> <p>この2回のツアーでは頂いた寄附金を活用し、ツアーの日程内において、合計約6,000本の苗を植樹し、また現地スタッフのもとツアーの日程以外においても現地の人々が随時マングローブの苗を植樹しています。</p> <p>このマングローブの苗は自然環境の保護に役立ち成長して大きくなるにつれてさらに環境保護に役立つマングローブの森となると期待しています。頂いた7,122円の寄附金は全額苗代と現地での管理費として活用させていただき、不足分は当法人の資金を使用いたしました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K232	団体名	特定非営利活動法人水と緑の環境ネットワークの会
連絡先 (電話／メール)	044-201-1495	活動ホームページ (URL)	http://www.silvamare.org
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	気仙沼大島支援プロジェクト		
寄附額合計	¥109,383		
事業報告	平成25年度		
	寄附額	¥50,350	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、東日本大震災で被災した宮城県気仙沼市で、管理放棄農地と荒廃山林の再生を通して、雇用の確保と産業振興を目指した取り組みを行っていました。全国各地から集まったボランティアも当地の維持管理作業の大きな力となっており、観光とリンクした多様で継続的な関わりを目指して活動していますが、活動に使用する資機材の補充が問題となっていました。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた50,350円と、当会の資金を合わせまして、平成25年4月に刈払鎌3本、鋏2本、草刈鎌20本、スコップ10本、椿の苗木40本を購入することができました。この道具を使って、植樹と農地での作業を継続することができます。</p> <p>(効果)新たな機材購入により、平成23年4月から使っていた機材の補充が出来ました。これにより継続して団体ボランティアの受け入れができました。今後は植樹地と農地の維持を少しずつ地域の方達の手に移しながら地域の復興に取り組んでいきます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥51,913	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、東日本大震災で被災した宮城県気仙沼市で、管理放棄農地と荒廃山林の再生を通して、雇用の確保と産業振興を目指した取り組みを支援して参りました。具体的には、全国から集まるボランティアの皆さんへ、観光とリンクした多様な関わり方を提供し、これまでに植栽した苗木や管理放棄山林の維持管理作業を行いました。このための使用資機材の更新と地元自治会などへの貸出し機材の補充が問題となっていました。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた51,913円と、当会の資金を合わせまして、平成25年9月に刈払機2台、刈払鎌5本、草刈鎌20本、スコップ20本を購入することができました。</p> <p>(効果)新たな資機材購入により、今後は、地域の方たちにも貸し出しをして行くことが出来ました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,120	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では2011年4月から「気仙沼大島支援プロジェクト」を実施しています。この活動は、被災地復興支援活動の一つとして、地域本来の植生を取り戻すための植樹を行い、その管理維持活動を行うプロジェクトです。</p> <p>(使途)いただきました寄附金につきましては、実施した記念植樹で使用したスコップ、鎌の購入費及び郵送料の一部に充当させていただきました。</p> <p>(効果)購入した備品は、島内の自治会や地区の活動に貸出すことで、被災地での自立的な活動へ寄与することが出来ます。ご寄附いただいた皆様、誠にありがとうございます。</p> <p>今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。 活動報告ページ http://www.silvamare.org/</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K233	団体名	緑のサヘル
連絡先 (電話／メール)	03-3252-1040	活動ホームページ (URL)	http://sahelgreen.org
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	ブルキナファソ国バム湖周辺植生回復プロジェクト		
寄附額合計	¥74,383		
事業報告	平成25年度		
	寄附額	¥49,850	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体が活動を行なっているブルキナファソ国中央北部州バム県では、地域植生の衰退・劣化が進行しています。とりわけ、地域住民の生活に必要な在来樹種の減少が顕著です。このため、養蜂活動が盛んなヤルカ村に植生保護区を設置すると共に、苗木植栽による回復を行なうことにしました。</p> <p>(使途)当該村に設置された1haの保護区へ植栽するための在来樹種の苗木、1,500本の購入のため、寄附金額(49,850円)の全額を使用しました。内訳は、アカシア・ニロチカ:1,300本、アカシア・アルビダ:40本、バオバブ:10本、ネレ:80本、カイセドラ:65本、シアーバターノキ:5本、です。</p> <p>(効果)これらの苗木は、住民によって保護区内に植栽されました。植栽後は、住民による水やりや害虫駆除などの管理作業が続けられています。シアーバターノキのみ成育率が20%でしたが、他の樹種はいずれも100%の成育率でした。蜜蜂の蜜源になることを期待しています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,413	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、土地の劣化と地域植生の衰退により、生活上の厳しさが増している西アフリカ・ブルキナファソにおいて、住民を支援する活動を行なっております。</p> <p>(使途)当初、保護区内で行なう活動への使用を計画しておりましたが、住民から追加植栽の依頼がなかったため、コンディビト村、クルベレ村、バディノゴ村で行なっている生活林植林用のシロアリ駆除剤の購入代として使用しました。ご寄附頂いた17,413円と当団体の資金を合わせ、2014年11月に、30袋を購入致しました。</p> <p>(効果)上記の3村で行なった生活林植林では、1村あたり2,100本の苗木(ユーカリ2,000本、マンゴ100本)が植栽され、3村合計で6,300本(ユーカリ6,000本、マンゴ300本)が植えられました。苗木を植栽する際に、シロアリ駆除剤を植穴に散布しました。現在のところ、シロアリによる被害は受けておらず、成育は順調です。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,120	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)ブルキナファソ中央北部州バム県では、地域植生の劣化が進んでいます。地域植生は地域住民にとって生活資源の供給源であり、その保全と回復は住民生活の安定化にかかせません。そのためには、残存している地域植生を保護するとともに、生活上有用である在来樹種の植林により活性化を図る必要があります。</p> <p>(使途)寄附金は、2015年8月に、ヤルカ村に設置された1haの保護区内に対して行なった、在来樹種(アカシア・ニロチカ)500本の植林活動の一部に活用させて頂きました。</p> <p>(効果)保護区内に植栽されたアカシア・ニロチカは現時点で全て良好であり、順調に成育しています。大きく成長し、花を咲かせるようになった暁には、ミツバチの採蜜源になります。蜂蜜は、地域住民にとって滋養強壮や民間治療薬として利用されています。これからも、地域住民の生活にとって有用な地域植生の回復と保全に取り組んでいきます。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K234	団体名	一般社団法人緑のまちづくり支援機構
連絡先 (電話／メール)	03-5256-5131	活動ホームページ (URL)	http://www.gts.or.jp
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	まちかど緑花・緑育支援事業		
寄附額合計	¥75,883		
事業報告	平成25年度		
	寄附額	¥51,350	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当機構は、ヒートアイランド現象の緩和を始めとする都市の環境改善に寄与するため、屋外向け仮設型緑花空間「グリーン・タウン・オアシス」の商品化を進めています。長尺のつる性植物数種を採用しており、街なかに設置することで、緑のカーテン同様、植物の蒸散作用と葉陰効果によりクールスポットの創出が可能となります。このたび、その試作基を安産祈願で知られる東京水天宮の仮宮敷地内(東京都中央区)にモデル設置し、参拝者などに安全で快適な休憩の場を提供しています。夏場の熱中症対策として、本試作基にミスト設備も導入する計画です。</p> <p>(使途)期間中にご寄附いただいた51,350円と当会の資金を合わせ、試作基設置における植栽費などの一部費用に充てさせていただきます。</p> <p>(効果)多くの方が参拝する水天宮へのモデル設置により、本商品の緑化の効果などを検証し、都市の環境改善への適応に向けて、商品の充実を図る所存です。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,413	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当機構では、設立当初より子ども向けの環境緑花教育を活動テーマのひとつに掲げ、教育プログラムの検討を行ってきました。そうしたなか、平成25年10月に東京都墨田区立錦糸小学校、平成26年1月に同二葉小学校に対し「植物と気象について～ヒートアイランド現象を考える～」と題した授業を行う機会を得ました。両校共に5学年の理科の授業の一環として、ヒートアイランド現象の実態と対策などをレクチャーしました。</p> <p>(使途)このたびにご寄附いただいた17,413円は、両校の生徒全員に学習の成果として授与した認定証の制作費や植物を含む教材費として活用させていただきました。</p> <p>(効果)今回の授業を通じ、環境問題の視点からみた都市緑化の必要性などを子どもたちに楽しく学んでもらうことができ、当機構としても大きな手応えを得ました。引き続き、環境緑花教育のメニューづくりに取り組み、同様の活動を継続していく考えです。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,120	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当機構では、かねてよりヒートアイランド現象の緩和や夏季の熱中症対策など、都市の環境改善に寄与するための取り組みを進めています。その一環として、2015年7月～9月末まで東京・臨海副都心エリアで、東京港埠頭(株)らの主催で実施された「花と緑のおもてなしプロジェクト2015」において、植栽コンテナや日除け、打ち水舗装、ドライミストなどを組み合わせた緑花空間としての立体ガーデンを出展、来場者に癒しのクールスポットを提供しました。</p> <p>(使途)期間中にご寄附いただいた7,120円と当会の資金を合わせ、同ガーデンの植栽費などの一部費用に充てさせていただきました。</p> <p>(効果)8月1日、2日には同プロジェクトの関連イベントが開催され、炎天下の中スタンプラリーなどを通じ当ガーデンを訪れたお子さんにも緑やドライミストなどの複合効果による涼しさを体感していただき、都市部での緑の必要性などの紹介につながりました。</p>	